

# シラバス

---

2026年度



北海道当別高等学校

# 2026年度 当別高校シラバス

## 目 次

・国語	p. 1~8
・地歴公民	p. 9~13
・数学	p. 14~23
・理科	p. 24~29
・保健体育	p. 30~34
・芸術	p. 35~36
・英語	p. 37~44
・家庭(普通)	p. 45~47
・情報	p. 48~49
・農業	p. 50~69
・商業	p. 70~71
・家庭(専門)	p. 72~86
・総合	p. 87
・産業社会と人間	p. 88
・総合的な探究の時間	p. 89~91

※目次の各科目をクリックすると、その科目のシラバスに飛ぶことができます。

教 科	国語
科 目 名	現代の国語
使用教科書	新編 現代の国語 改訂版 (大修館書店)
副教材等	新編 現代の国語〔改訂版〕学習ノート (大修館書店) 書きたくなるアシスト常用漢字(数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。言葉を通して他者や社会に関わろうとする心を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加しましょう。また、漢字テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語を辞書等で調べ、新しく得た知識は積極的に日常生活に活かしていきましょう。
- 3) だれが見てもわかるノート(A4)を作りましょう。プリントは配布直後すぐに必ずノートに貼ること。※原則、再配布はなし。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文章の内容や表現の特色を理解し、それを的確に表現できるか、また、常識的な語いを身につけ、正しく表記できるかについて、各種テストや提出物の出来で評価する	学習している知識や技能を適切な場面で自己の表現に活用しているか、そのために深く豊かに思考しているかについて、活動の様子や提出物の表現で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
前 期	4	○ことばをひらく	・「コミュニケーションは技術だ」(鴻上尚史) 筆者のコミュニケーションに対する考え方を読み取る。	
	5	○日本語を使いこなす	・声を意識しよう	
	6		・正しく書こう	
	7		・正しく読もう	
	7		・ことばを選んで話そう ・文を整え、文をつなぐ	
	8	○聞く力・話す力を育む	・「聞くコミュニケーション」(村田和代) ・聞き取りのレッスン	
	9			
				評価期間 ※夏季休業課題
	後 期	10	○わかりやすく説明する	・伝わるように話そう、説明のしかた
11		・「生きることと食べることの意味」(福岡伸一) ・絵や写真を説明しよう		
12		・「水の東西」(山崎正和)		
1		○論理を読み取る	・「人間とAI-創造力の源泉」(松田雄馬)	
2		○聞く力・話す力を育む	・聞き上手になろう	
3			・「あいづちのありがたさ」(永田和宏)	
		○読書の広場	・おすすめの本を紹介しよう ・ショートスピーチをしよう ・本のPOPを作ろう	
			評価期間 ※冬季休業課題  学年末評価期間	

教 科	国語
科 目 名	現代の国語
使用教科書	新編現代の国語（大修館書店）
副教材等	書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版） 新編現代の国語 学習ノート（大修館書店）
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。言葉を通して他者や社会に関わろうとする心を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加しましょう。また、漢字テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語を辞書等で調べ、新しく得た知識は積極的に日常生活に活かしていきましょう。
- 3) だれが見てもわかるノート（A4）を作りましょう。プリントは配布直後すぐに必ずノートに貼ること。※原則、再配布はなし。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	文章の内容や表現の特色を理解し、それを的確に表現できるか、また、常識的な語いを身につけ、正しく表記できるかについて、各種テストや提出物の出来で評価します。	学習している知識や技能を適切な場面で自己の表現に活用しているか、そのために深く豊かに思考しているかについて、活動の様子や提出物の表現で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
学 期	4	○ことばをひらく	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことばの学びに向けて「「変わる」ことを楽しもう」（茂木健一郎）</li> <li>・ショートスピーチをしよう</li> <li>・料理レシピを書こう</li> </ul>	<p style="text-align: right;">評価期間</p> <p style="text-align: right;">※夏季休業課</p>
	5	○わかりやすく説明する		
	6	○論理を読み取る		
	7	○伝え合いのレッスン		
学 期	8	○情報と向き合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を吟味しながら読もう「情報の力関係」（佐藤雅彦）</li> <li>・魅力的な企画書を書こう 理想の見学旅行を企画し、企画書を書く。</li> <li>・プレゼンテーションをしよう 理想の修学旅行について効果的なプレゼンテーションを考え実践する。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">評価期間</p> <p style="text-align: right;">評価期間</p>
	9	○他者を動かす		
	10			
	11			
	12	○目的に応じて書く		
学 期	1	○社会に目を向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを深めながら読もう「何のために「働く」のか」（姜尚中）</li> <li>・社会に対する意見文を書く 意見文の書き方を理解し、実践する。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">学年末評価期間</p>
	2			
	3			

教 科	国語
科 目 名	言語文化
使用教科書	新編 言語文化 改訂版 (大修館書店)
副教材等	新編 言語文化 [改訂版] 学習ノート (大修館書店)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な言語知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に関心を持ち、言葉を通して他者と関わり合う態度を養う。また、読書に親しみ自己を向上させながら深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが出来るようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に主体的に取り組みましょう。知識、技能を確実に積み重ねていくために、小テストや課題に真剣に臨みましょう。
- 2) 古典の文章が理解できるようになるために語彙力を伸ばし、すらすらと音読できるようになりましょう。
- 3) 後で見返しても授業内容がよくわかるノート、プリントづくりを心がけ、配布物は2穴ファイルに順番に綴じましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	古典を読むためのきまりや古典特有の表現及び我が国の特徴的な言語文化の歴史的背景についての基礎的理解を、各種テストや提出物の出来で評価します。	文章内容や表現の特色について自分の考えに基づき解釈や批評をしているか、自分の思いを適切に伝える工夫をしているか、活動の様子や提出物の表現内容で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
前 期	4	○言葉の豊かさを	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリアン助川『言葉の森を育てよう』</li> <li>阿辻哲治『漢字と仮名の使い分け』</li> <li>・「いろは歌」「児のそら寝」</li> <li>・川上弘美『水かまきり』</li> <li>・短歌のきまりを復習し、創作に挑戦する →当別こども百人一首への参加</li> <li>・黛まどか『季節の言葉と出会う』</li> <li>・「詩歌の調べ」→さまざまな詩歌の形式、時代、構成や表現の特色、作品の季節感や作者の心情</li> </ul>	単元テスト
	5	発見する		単元テスト
	6	○古文に親しむ		単元テスト
	7	○表現を味わう		評価期間 ※夏季休業課題
	8	○詩歌の創作を通して表現に親しむ		単元テスト
後 期	9	○文化を見つめる	評価期間	
	10	○四季折々の詩歌を味わう	単元テスト	
	11	○物語を受け継ぐ	単元テスト	
後 期	12	○漢文に親しむ	単元テスト	
	1	○読書の広場	訓読小テスト 評価期間 ※冬季休業課題	
	2	○随筆を楽しむ	単元テスト	
	3	○現代に生きることば	学年末評価期間 レポート課題	
	3	○読書の広場	単元テスト	

教 科	国語
科 目 名	言語文化
使用教科書	新編 言語文化 (大修館書店)
副教材等	新編 言語文化 学習ノート (大修館書店)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家 政 科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な言語知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に関心を持ち、言葉を通して他者と関わり合う態度を養う。また、読書に親しみ自己を向上させながら深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが出来るようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に主体的に取り組みましょう。知識、技能を確実に積み重ねていくために、小テストや課題に真剣に臨みましょう。
- 2) 古典の文章が理解できるようになるために語彙力を伸ばし、すらすらと音読できるようになりましょう。
- 3) 後で見返しても授業内容がよくわかるノート、プリントづくりを心がけ、配布物は2穴ファイルに順番に綴じましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	古典を読むためのきまりや古典特有の表現及び我が国の特徴的な言語文化の歴史的背景についての基礎的理解を、各種テストや提出物の出来で評価します。	文章内容や表現の特色について自分の考えに基づき解釈や批評をしているか、自分の思いを適切に伝える工夫をしているか、活動の様子や提出物の表現内容で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について活動観察で評価します。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	○「狐借虎威」(『戦国策』)	訓読復習テスト  レポート提出  単元テスト  <b>評価期間</b> ※夏季休業課題
	5	○故事成語【調べ学習】	
	6	○『徒然草』(兼好法師) ○折句を用いて短歌を作る	
	7	○伝統と文化	
二 学 期	8	○『夢十夜』(夏目漱石)	単元テスト  <b>評価期間</b>
	9		
	10	○『論語』	単元テスト
	11 12	○『枕草子』(清少納言)	<b>評価期間</b> 単元テスト
三 学 期	1 2 3	○『おくのほそ道』(松尾芭蕉)	単元テスト  <b>学年末評価期間</b>

教 科	国語
科 目 名	文学国語
使用教科書	新編文学国語 (大修館書店)
副教材等	書きたくなるアシスト 常用漢字(数研出版)
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解を深める。  
 深い共感性や豊かな想像力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。  
 我が国の言語文化の担い手として言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加して小テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語は辞書等で調べ、自分の日常生活にも活用しましょう。そうすることで、語いが豊かになります。
- 3) だれが見てもわかるノートを書きましょう。また、プリントは原則、再配布しません。自己管理を徹底しましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文学に関する知識や表現技法等の基礎的理解、また、常識的な語いの習得と正しい表記能力を小テスト、単元テスト、課題の正確さで評価します。	作品に関する自分の深い思考や豊かな想像の内容を適切な表現で伝えることができる。他者の意見を汲み、自分の考えを広げたり深めたりできる。これらを授業を通して評価します。	自ら学び取ろうと積極的に取り組むこと。授業は自分自身を成長させる時間だと捉えること。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	文学の扉を開こう1～4	<b>評価期間</b>  ※夏季休業課題
	5	小説を楽しむ(一) 文学の扉を開こう5 古典の世界1 文化を感じる	
	6	古典の世界2 月やあらぬ(『伊勢物語』)	
	7	文学の扉を開こう7 短歌・俳句に親しむ	
		1 文学的な文章とは? 2 場面設定を押さえる 3 場面の展開を追う 4 心情・情景描写を読み取る...小説の読み方を確認する 『晴れた空の下で』(江國香織) 上記小説について感動したことを共有する 児の飴食ひたること(『沙石集』) 『夏の月』(高階秀爾)	
		『おぼろ月』(藤沢周平)	
		短歌・俳句の構成と表現 短歌10首(当別子ども百人一首に向けて)	
二 学 期	8	小説を楽しむ(二)	<b>仮評価期間</b>  <b>評価期間</b>  ※冬季休業課題
	9	名作を読む(一)	
	10	《書く》物語を紡ぐ② 名曲から物語を書こう	
	11	古典の世界4 桐壺・若紫(『源氏物語』)	
	12	名作を読む(二) 『こころ』(夏目漱石)	
		表現を味わう 『ぼくのお母さん』(川上未映子)	
三 学 期	1	《書く》思いを言葉に① エッセイを書こう	<b>学年末評価期間</b>
	2	《書く》思いを言葉に② 手紙を書こう	
	3		

教 科	国語
科 目 名	文学国語
使用教科書	新編文学国語 (大修館書店)
副教材等	書きたくなるアシスト 常用漢字(数研出版)
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家 政 科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解を深める。  
 深い共感性や豊かな想像力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。  
 我が国の言語文化の担い手として言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加して小テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語は辞書等で調べ、自分の日常生活にも活用しましょう。そうすることで、語いが豊かになります。
- 3) だれが見てもわかるノートを書きましょう。また、プリントは原則、再配布しません。自己管理を徹底しましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	文学に関する知識や表現技法等の基礎的理解、また、常識的な語いの習得と正しい表記能力を小テスト、単元テスト、課題の正確さで評価します。	作品に関する自分の深い思考や豊かな想像の内容を適切な表現で伝えることができる。他者の意見を汲み、自分の考えを広げたり深めたりできる。これらを授業を通して評価します。	自ら学び取ろうと積極的に取り組むこと。授業は自分自身を成長させる時間だと捉えること。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考	
一 学 期	4	文学の扉を開こう1～4	1 文学的な文章とは？ 2 場面設定を押さえる 3 場面の展開を追う 4 心情・情景描写を読み取る…小説の読み方を確認する 『晴れた空の下で』(江國香織) 上記小説について感動したことを共有する 児の飴食ひたること(『沙石集』) 『夏の月』(高階秀爾) 月やあらぬ(『伊勢物語』) 短歌・俳句の構成と表現 短歌10首(当別子ども百人一首に向けて)	<b>評価期間</b>  ※夏季休業課題
	5	小説を楽しむ(一) 文学の扉を開こう5 古典の世界1 文化を感じる		
	6	古典の世界2		
	7	文学の扉を開こう7 短歌・俳句に親しむ		
	8	小説を楽しむ(二)		
	9	名作を読む(一)		
	10	《書く》物語を紡ぐ②		
二 学 期	11	古典の世界4	<b>仮評価期間</b>  <b>評価期間</b>  ※冬季休業課題	
	12	名作を読む(二)		
	1	《書く》思いを言葉に①		
	1	《書く》思いを言葉に②		
三 学 期	1	手紙を書こう	<b>学年末評価期間</b>	

教 科	国語
科 目 名	国語表現
使用教科書	国語表現（東京書籍）
副教材等	国語表現ワークブック（東京書籍） 書きたくなるアシスト常用漢字 （数研出版）
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ・コミュニケーションに不可欠な表現力を豊かにする姿勢を身につけ、他者との関わりの中で伝える力を高める。
- ・スピーチやグループ活動を通して、人間にとって根源的な喜びである「他者とつながる喜び」を味わい、表現の工夫や受けとる側の姿勢を学び深める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○			○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 授業に積極的に参加して小テストや課題に前向きに取り組み、知識を確実に積み重ねていきましょう。
- 2) わからない語は辞書等で調べ、自分の日常生活にも活用しましょう。そうすることで、語いが豊かになります。
- 3) だれが見てもわかるノートを書きましょう。また、プリントは原則、再配布しません。自己管理を徹底しましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	言葉に関する知識や表現技法等の基礎的理解、また、常識的な語いの習得と正しい表記能力を小テスト、単元テスト、課題の正確さで評価します。	課題に対して深く思考し、それを適切な表現で豊かに伝えることができる。他者の意見を汲み、自分の考えを広げたり深めたりできる。これらを授業を通して評価します。	自ら学び取ろうと積極的に取り組むこと。授業は自分自身を成長させる時間だと捉えること。居眠りや私語、忘れ物、未提出課題等がある場合、C評価につながります。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容		備 考
一 学 期	4	・表現とは何か ・分かりやすく説明しよう ・問いを考えよう ・情報活用力を身につけよう ・「自分」を表現しよう	・傾聴・共感ゲーム、ジェスチャーゲームなどを通して表現を学ぶ際に重要なことを体験する。 ・情報を整理して伝達するときの基本を学ぶ。 ・インタビューを実践し、問いのもつ力や重要性を学習するとともに、インタビューを文章で再現することで構成力を養う。 ・インタビューを基に広報資料を作成する技術を磨く。 ・面接時の自己PRに繋がるよう、自分の魅力がしっかりと伝わる表現力を学ぶ。	評価期間  ※夏季休業課題
	5			
	6			
	7			
二 学 期	8	・論理的な文章を書こう ・話し合う力を身につけよう ・説得力のある提案をしよう	・与えられたテーマや資料をもとに自分の思い・考えを「主張」として組み立て「根拠」を明確にしながら「論理的な構成」の文章にまとめる力を養う。 ・ファシリテーションの技法を学ぶ。 ・今後の当別高校をより良くするための企画を提案しプレゼンテーションを行う。	仮評価期間  評価期間
	9			
	10			
	11			
	12			
三 学 期	1	・表現を楽しもう	・替え歌の歌詞を創作する。	学年末評価期間

教 科	国語
科 目 名	国語探究
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

言葉による見方・考え方を学びながら、言語活動を通して生涯にわたる社会生活に必要な言葉の知識や技能を身につけるとともに、言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- 1) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動が主体の選択科目です。積極的に各活動に参加しましょう。
- 2) また、批評の力も高めていきましょう。相互に良い点だけでなく改善点も指摘し合うよう努めましょう。
- 3) プリントの管理を徹底してください。学習成果の蓄積を大切にしてください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	日本語表現の特色を理解し、社会人として常識的な語彙を身に付け、的確に表現できるか、また、正しく表記できるかについて、提出物の出来や小テストで評価します。	身に付けた語彙や表現技法を場面等に応じて適切に選択して表現しているか、また、他者の表現について自己の考えをもとに批評できるか、授業の活動で評価します。	授業に真剣に臨み、自ら学び積極的に表現しようとする姿勢について、活動観察及び学習成果物（提出物）で評価します。また、忘れ物、未提出課題等は評価を減じます。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	○語感を磨く 目的、場面、相手に応じた適切な表現、言葉遣い	
	5		
	6	○社会に向けての発信文の作成 投書文等の書き方を学ぶ	
	7		
<b>評価期間</b>			※夏季休業課題
二 学 期	8	○論理的思考と表現 小論文の構成を身に付け、論理的な文章を書く	
	9		
	10	○論理的思考の深化 根拠に基づいた主張を展開し、説得力のある小論文を書く	
	11		
12	○語感を磨く2 ことわざ、慣用句、故事成語の由来と、語義の変遷についての調べ学習	<b>評価期間</b>	
三 学 期	1	○語彙を豊かにする 同音異義、同訓異字、和語、漢語、外来語等の使い分け	<b>学年末評価期間</b>

教 科	地理歴史科
科 目 名	地理総合
使用教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）
副教材等	高等学校 新地理総合ノート （帝国書院）
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

- ・授業に積極的に参加して下さい。配布プリントや単元テストなどの整理も各自で工夫を凝らして取り組んで下さい。
- ・状況によりGoogleClassroomを利用することも考えられます。課題や連絡に使用する場面が考えられます。
- ・復習に力を入れ、継続的に学習して下さい。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	地理の基礎：都道府県名、世界の主な国名、大陸と大洋、地図記号、	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	5	地球上の位置と時差、地図の種類：地球上の位置、時差、図法	
	6	地図の役割と種類：主題図、地理情報システム	
	7・8	世界の地形と人々の生活：大地形、変動帯、河川の地形、海岸の地形	
	9	世界の気候と人々の生活：気温、降水量、大気循環、植生、雨温図	
後 期	10	世界の気候と人々の生活：熱帯、乾燥帯、温帯、	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	11	世界の気候と人々の生活：亜寒帯、寒帯、オセアニアの自然環境、	
	12	オセアニア：オーストラリアの農業、産業	
	1	東南アジア：東南アジアの自然地形	
	2	東南アジア：東南アジアの食文化	
	3	防災：日本の気候、地形、防災対策	

教 科	地理歴史科
科 目 名	歴史総合
使用教科書	Read&Think 歴史総合 (東京書籍)
副教材等	Read & Think 歴史総合ワークノート (東京書籍)
単 位 数	3

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>
--

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

<p>授業でプリントを配布しますので、整理を各自行ってください。整理するためのファイルを準備してください。 Google classroomを利用します。課題や連絡に使用しますので、確認できるようにしておいで下さい。 復習に力を入れ、継続的に学習してください。</p>
--

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	歴史の扉（歴史と私たち、歴史の特質と資料）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	5	近代化と私たち（近代化への問い・アジアの繁栄と西洋近代の形成）	
	6	近代化と私たち（アジアの繁栄と西洋近代の形成）	
	7	近代化と私たち（世界の一体化と多様な近代化・近代化と現代的な諸課題）	
二 学 期	8・9	国際秩序の変化や大衆化と私たち （国際秩序の変化や大衆化への問い・第一次世界大戦と大衆社会）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	10・11	国際秩序の変化や大衆化と私たち （第一次世界大戦と大衆社会）	
	12	国際秩序の変化や大衆化と私たち （第一次世界大戦と大衆社会・経済危機と第二次世界大戦）	
三 学 期	1・2	国際秩序の変化や大衆化と私たち （経済危機と第二次世界大戦）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	3	国際秩序の変化や大衆化と私たち （国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題）	

教 科	地理歴史科
科 目 名	世界史探究
使用教科書	高校世界史（山川出版）
副教材等	高校世界史ノート（山川出版）
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての素質・能力を育成することをめざす。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

授業に積極的に参加して下さい。配布するプリントや単元テストなどの整理も各自で工夫をこらして取り組んで下さい。  
 復習に力を入れて、継続的に学習して下さい。  
 状況によりGoogleClassroomを利用することがあります。課題や連絡に使用する場面が考えられます。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 文明の成立と古代文明の特質	単元テストを行います。
	5	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	
	6	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	
	7	第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成	
二 学 期	8	第6章 イスラーム教の諸地域への伝播	単元テストを行います。
	9	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	
	10	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	
	11	第9章 大交易・大交流の時代	
	12	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	
三 学 期	1	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	単元テストを行います。

教 科	公民科
科 目 名	公共
使用教科書	公共 新訂版 共につくる未来 (実教出版)
副教材等	公共 新訂版 マイノート (実教出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○			○		○

### 3.学習の留意点

授業でプリントを配布しますので、整理を各自行ってください。整理するためのファイルを準備してください。  
Google classroomを利用します。課題や連絡に使用しますので、確認できるようにしておいで下さい。  
復習に力を入れ、継続的に学習してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	社会を作る私たち（青年期・自己形成の課題・職業生活と社会参加）	単元の修了後、単元テストを行います。
	5	人間としてよく生きる（動機説・功利主義）	
	6	他者とともに生きる（公正）・民主政治の倫理（平等）	
	7	民主国家における基本原理（民主政治の成立・民主政治の基本原理）	
二 学 期	8・9	民主国家における基本原理（民主政治の仕組みと課題）	単元の修了後、単元テストを行います。
		日本国憲法の基本的性格 (日本国憲法の成立と基本的性格)	
	10	(自由権・平等権)	
	11	(社会権・新しい人権)	
	12	現代の経済社会（経済主体と経済活動の意義・市場の仕組み） (市場の失敗・国民所得)	
三 学 期	1・2	日本経済の特質と国民生活（消費者問題）	単元の修了後、単元テストを行います。
	3	持続可能な社会作りの主体となる私たち	

教 科	公民科
科 目 名	政治・経済
使用教科書	最新政治・経済（実教出版）
副教材等	最新政治・経済演習ノート （実教出版）
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

授業に積極的に参加して下さい。配布するプリントや単元テストなどの整理も各自で工夫をこらして取り組んで下さい。  
復習に力を入れて、継続的に学習して下さい。  
状況によりGoogleClassroomを利用することがあります。課題や連絡に使用する場面が考えられます。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	単元テストや提出物や授業での取り組みなどから評価を行います。	提出物の提出状況、授業への参加態度、提出物の内容等から評価を行います。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	現代国家と民主政治 （民主政治と法・民主政治の基本原則・しくみと課題・世界の政治制度）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	5	日本国憲法と基本的人権 （日本国憲法の成立・基本原則・基本的人権・平和主義）	
	6	日本の政治制度と政治参加 （立法・行政・司法・地方自治）	
	7	日本の政治制度と政治参加（政党政治、選挙制度）	
二 学 期	8・9	現代の経済社会 （現代経済の意義・経済主体と市場の働き・企業の役割）	単元テストを行います。実施する際は連絡します。
	10	現代の経済社会 （国民所得・経済成長と国民の福祉・日本銀行の役割・財政の役割と租税）	
	11	現代の日本経済と福祉の向上 （消費者問題・労働問題と労働者の権利・社会保障の役割と課題）	
	12	現代日本における諸課題の探究	
三 学 期	1	現代日本における諸課題の探究	単元テストを行います。実施する際は連絡します。

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	改訂版 新数学Ⅰ (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy WRITE 数学Ⅰ
単 位 数	4

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書以外に問題集、ノートを用意し、数学的に式を読み、解答までの記述を丁寧かつ正しく書くことを身につける。
- ・授業時間以外にも数学を学習する時間を設ける。
- ・習熟度で2つのグループに分けて授業を行う。(評価期間ごとグループ替えを考慮する)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考		
前 期	4	数と式の計算 計算の基本 単項式と多項式の加法、減法、乗法 展開の公式	基礎力診断テスト  評価期間		
	5	因数分解 展開と因数分解の工夫 混合を含む式の計算 実数 一次不等式			
	6	一次方程式 不等式 不等式の解 二次関数のグラフ			
	7	関数 一次関数のグラフ 二次関数のグラフ 二次関数の最大値、最小値			
	8	グラフと二次方程式			
	9	二次不等式			
	後 期	10		三角比	評価期間
		11		直角三角形 三角比 三角比の利用	
		12		相互関係 鈍角の三角比	
1		正弦定理 余弦定理 三角形の面積			
2		集合と命題 集合 命題と集合 必要条件と十分条件			
3		データの分析 データの整理 データの代表値 データの散らばり データの相関 仮説検定の考え方			
			評価期間		

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	改訂版 新数学Ⅰ (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy WRITE 数学Ⅰ
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

数と式、図形と計量、二次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・基本的な四則演算ができる。
- ・家庭学習を毎日最低10分は行う。
- ・板書をするだけでなく、自分で考えて答えを出す。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト	評価期間テスト 小テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考		
前 期	4	数と式の計算	基礎力診断テスト  評価期間		
	5	計算の基本 単項式と多項式の加法、減法、展開の公式			
	6	因数分解 展開と因数分解の工夫			
	7	混合を含む式の計算 実数 一次不等式			
	8	一次方程式			
	9	不等式			
	9	不等式の解			
	後 期	10		二次関数のグラフ	評価期間  評価期間
		11		関数 一次関数のグラフ 二次関数のグラフ	
12		二次関数の最大値、最小値			
1		グラフと二次方程式 二次方程式			
2		二次不等式			
3		二次不等式			

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	改訂版 新数学Ⅰ (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy WRITE 数学Ⅰ
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

数と式、図形と計量、二次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・基本的な四則演算ができる。
- ・家庭学習を毎日最低10分は行う。
- ・板書をするだけでなく、自分で考えて答えを出す。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考		
前 期	4	数と式の計算	基礎力診断テスト  評価期間		
	5	計算の基本 単項式と多項式の加法、減法、展開の公式 因数分解 展開と因数分解の工夫			
	6	混合を含む式の計算 実数			
	7	一次不等式 一次方程式 不等式 不等式の解			
	8	二次関数のグラフ			
	9	関数 一次関数のグラフ 二次関数のグラフ			
	後	10		二次関数の最大値、最小値	評価期間
	11	グラフと二次方程式 二次方程式			
	12	二次不等式			
期	1	三角比 直角三角形 三角比 三角比の利用	評価期間		
	2	相互関係 鈍角の三角比			
	3	正弦定理 余弦定理 三角形の面積			

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新 高校の数学Ⅰ (数研出版)
副 教 材 等	新課程 新 高校の数学Ⅰ ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことができる。
- 図形の計量の基本的な性質について理解し計量の考えの有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できる。
- 集合と命題に関する基本的な概念や統計の基本的な考え方を理解するとともに、データを整理・分析し傾向を把握できる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 授業中は私語、居眠りをせず、集中して真剣に取り組む。演習時に、出来るようになるために活動する。
- 課題プリント等には必ず取り組む。家庭学習として復習を充分に行う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	単元テスト	単元テスト	授業態度・意欲・姿勢	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト	ノート・プリント類・問	B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況	題集の提出	C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第2章 二次関数 二次方程式・二次不等式	基礎力診断テスト  評価期間
	5	第3章 三角比 直角三角形 三角比	
	6	三角比の利用 相互関係	
	7	鈍角の三角比	
二 学 期	8	正弦定理 余弦定理	評価期間
	9	三角形の面積	
	10	第4章 集合と命題 集合 命題と集合	評価期間
	11	必要条件と十分条件 背理法	
三 学 期	1	第5章 データの分析 データの整理・データの代表値	評価期間
	2	データの相関 仮説検定の考え方	
	3	探究的学習	

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅰ
使用教科書	新 高校の数学Ⅰ (数研出版)
副 教 材 等	新課程 新 高校の数学Ⅰ ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことができる。
- 図形の計量の基本的な性質について理解し計量の考えの有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できる。
- 集合と命題に関する基本的な概念や統計の基本的な考え方を理解するとともに、データを整理・分析し傾向を把握できる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 授業中は私語、居眠りをせず、集中して真剣に取り組む。演習時に、出来るようになるために活動する。
- 課題プリント等には必ず取り組む。家庭学習として復習を充分に行う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	単元テスト	単元テスト	授業態度・意欲・姿勢	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト	ノート・プリント類・問	B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題 集	ノート・プリント・問題 集の取組み状況	題集の提出	C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第3章 三角比 直角三角形 三角比	基礎力診断テスト  評価期間
	5	三角比の利用 相互関係	
	6	鈍角の三角比 正弦定理	
	7	余弦定理	
二 学 期	8	三角形の面積 第4章 集合と命題	評価期間
	9	集合 命題と集合	
	10	必要条件と十分条件 背理法	評価期間
	11	第5章 データの分析 データの整理・データの代表値	
12			
三 学 期	1	データの相関 仮説検定の考え方	評価期間
	2	探究的学習	
	3		

教 科	数学
科 目 名	数学Ⅱ
使用教科書	改訂版 新数学Ⅱ
副教材等	改訂版 Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 整式の乗法・除法、分数式の四則計算、2次方程式及び高次方程式を解くことができるようにする。
- 2 座標を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し、様々な図形の考察に活用できるようにする。
- 3 今まで学んだ指数法則や累乗根の考え方を数の分類を拡張しても規則は変わらないことを理解させる。また、指数と対数の関係から対数の有用性を学ばせる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト	単元テスト	授業態度・意欲・姿勢	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト	ノート・プリント類・問題集の提出	B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 複素数と方程式 式の展開因数分解 分数式の計算 複素数 二次方程式の解と判別式	基礎力診断テスト  評価期間
	5	解と係数の関係 整式の割り算 因数定理 高次方程式	
	6	第2章 図形と方程式 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係	
二 学 期	8	円の方程式	評価期間
	9	第3章 三角関数 三角比 三角関数の相互関係 三角関数のグラフ 加法定理 いろいろな公式	
	10	第4章 指数関数・対数関数 指数の拡張 累乗根 指数関数のグラフ	評価期間
	11	対数 対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数	
12	第5章 微分法と積分法 微分係数 導関数 接線 関数の増減		
三 学 期	1	関数の極大値、極小値 関数の最大値、最小値	評価期間
	2	不定積分 定積分	
	3	定積分と面積	

教 科	数学
科 目 名	数学A
使用教科書	改訂版 新数学A (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy WRITE 数学A
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト	評価期間テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト		B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 場合の数と確率 集合の要素と個数 和の法則と積の法則	基礎力診断テスト  評価期間
	5	順列 組み合わせ	
	6	事象と確率 独立な思考と確率	
	7	反復思考の確率 条件付確率	
二 学 期	8	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	評価期間  評価期間
	9	倍数の見分け方	
	10	素数と素因数分解 最小公倍数と最大公約数の関係	
	11	2進数 点の表し方	
	12	数学とゲーム・パズル	
三 学 期	1	第2章 図形の性質 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心	評価期間
	2	円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	
	3	2つの円 作図 空間の直線、平面 正多面体 立体の断面	

教 科	数学
科 目 名	数学A
使用教科書	改訂版 新数学A (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy WRITE 数学A
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト	評価期間テスト 小テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 場合の数と確率 集合の要素と個数 和の法則と積の法則	基礎力診断テスト  評価期間
	5	順列 組み合わせ	
	6	事象と確率 独立な思考と確率	
	7	反復思考の確率 条件付確率	
二 学 期	8	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	評価期間  評価期間
	9	倍数の見分け方	
	10	素数と素因数分解 最小公倍数と最大公約数の関係	
	11	2進数 点の表し方	
	12	数学とゲーム・パズル	
三 学 期	1	第2章 図形の性質 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心	評価期間
	2	円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	
	3	2つの円 作図 空間の直線、平面 正多面体 立体の断面	

教 科	数学
科 目 名	数学A
使用教科書	改訂版 新数学A (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy WRITE 数学A
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学を通して6の力に代表されるさまざまなコンピテンシーの育成に努める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業の理解に重点を置く。
- ・演習量を増やし、解法の手引きに従って自ら解答を導けるように粘り強く促す。
- ・演習問題を実践的に取り組ませることにより、達成感を持たせる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	単元テスト	単元テスト	授業態度・意欲・姿勢	A:十分満足できる状況	
	小テスト	小テスト	ノート・プリント類・問題集の提出	B:概ね満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 場合の数と確率 集合の要素と個数 和の法則と積の法則 順列 組み合わせ	基礎力診断テスト  評価期間
	5	事象と確率	
	6	独立な思考と確率	
	6	反復思考の確率	
	7	条件付確率	
二 学 期	8	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	評価期間  評価期間
	9	倍数の見分け方	
	10	素数と素因数分解 最小公倍数と最大公約数の関係	
	11	2進数 点の表し方	
	12	数学とゲーム・パズル	
三 学 期	1	第2章 図形の性質 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心	評価期間
	2	円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	
	3	2つの円 作図 空間の直線、平面 正多面体 立体の断面	

教 科	数学
科 目 名	数学B
使用教科書	数学B Standard (東京書籍)
副教材等	改訂版 standard Buddy STAGE 数学B
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。  
(2) 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。  
(3) 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深める。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業は主体性を持って取り組む。
- ・わからないことがあれば, 自分から先生または友人に質問をする。
- ・難問に対してもあきらめずに取り組み自分なりの回答を出す。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	評価期間テスト 小テスト	評価期間テスト 小テスト	授業態度・意欲・姿勢 ノート・プリント類・問題集の提出	A:十分満足できる状況	
	ノート・プリント・問題集	ノート・プリント・問題集の取組み状況		B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 数列 第1節 数列 等差数列 等比数列 複利法と等比数列	基礎力診断テスト  評価期間
	5	和の記号 $\Sigma$ 階差数列	
	6	第2節 漸化式と一般項 数学的帰納法	
	7	数列に関する種々の問題演習	
二 学 期	8	第3章 数学と社会生活 ごみの量の推定 自転車シェアリング	評価期間
	9	電気料金と省エネルギー 平均気温と地球温暖化 標高と気温の関係 自転車が止まるまでの距離	
	10	第2章 統計的な推測 第1節 確率 確率分布と確率変数	
	11	二項分布 確率密度関数 正規分布 二項分布と正規分布	
12		評価期間	
三 学 期	1	第二節 母集団と標本 母平均の推定 仮説検定	評価期間
	2		
	3		

教 科	理科
科 目 名	科学と人間生活
使用教科書	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)
副 教 材 等	改訂 ネオパルノート 科学と人間生活 (第一学習社)
単 位 数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを見直しをもって行うことなど通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

- ・授業をきちんと聞き、参加してください。ワークシートや副教材を期日までにきちんと提出してください。
- ・考査の直前だけでなく、継続的に学習してください。特に家庭での学習は、副教材を利用して演習を繰り返してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	必要な知識・技能を身につけているか、実験・観察や単元テストから評価します。	自然の事物や現象を考察・分析し表現できるか、記述や単元テスト等から評価します。	自然の事物や現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を提出物から評価します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考		
前 期	4	○序章 科学技術の発展	前期中間評価		
	5	○第Ⅲ章第2節 光の性質とその利用 光の発生と速さ、反射・屈折 光の分散・散乱・回折・干渉・偏光			
	6	電磁波の種類とその利用			
	7	○第Ⅱ章第2節 微生物とその利用 身近な微生物、微生物の発見 生態系内の微生物			
	8	微生物の利用 食品と微生物、医薬品と微生物			
	9	微生物の利用の広がり		前期末評価	
	後 期	10		○第Ⅰ章第2節 衣料と食品 身近な繊維、繊維の構造と染色	後期中間評価
		11		天然繊維、化学繊維 食品中の主な栄養素	
		12		炭水化物、タンパク質、脂質、その他の栄養素	
1		○第Ⅳ章第1節 自然景観と自然災害 日本列島のなりたち 火山活動・地震活動と地表の変化、防災			
2		水のはたらきと地表の変化 気象災害と防災			
3			後期末評価		

教 科	理科
科 目 名	物理基礎
使用教科書	高等学校 改訂 物理基礎 (第一学習社)
副教材等	レッツトライノート 物理基礎 vol.0～2 (東京書籍)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○			

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験や考察を行う上で、その内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述などから学びに向かう態度等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	1章 物体の運動 1節 物体の運動 2節 力と運動の法則	1学期評価期間
	5		
	6		
二 学 期	7		2学期仮評価期間  2学期評価期間
	8	3節 仕事と力学的エネルギー	
	9	2章 熱 1節 熱とエネルギー	
	10	3章 波動 1節 波の性質 2節 音波	
	11		
三 学 期	12	4章 電気 1節 静電気と電流 2節 電流と磁場	学年末評価期間
	1	3節 エネルギーとその利用	
	2	終章 物理学が築く世界	
	3		

教 科	理科
科 目 名	化学基礎
使用教科書	i版 化学基礎 改訂版 (啓林館)
副教材等	リピート&チャージ 化学基礎ドリル 3分冊(実教出版)
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる化学現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや小テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験等を行う上での予想や考察の内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述、化学への関心等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	第1部 物質の構成 1章 化学と物質 2章 物質の構成粒子 3章 化学結合	1学期評価期間
	5		
	6		
	7		
二 学 期	8	第2部 物質の変化 1章 物質と化学反応式 指数計算 原子量・分子量・式量 アボガドロ数 モル計算 溶液と濃度 化学反応式 2章 酸と塩基	2学期仮評価期間
	9		
	10		2学期評価期間
	11		
	12		
三 学 期	1	3章 酸化還元反応	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	理科
科 目 名	化学基礎
使用教科書	1版 化学基礎 改訂版 (啓林館)
副教材等	リピート&チャージ 化学基礎ドリル 3分冊(実教出版)
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる化学現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テストや小テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験等を行う上での予想や考察の内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述、化学への関心等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	第1部 物質の構成 1章 化学と物質 2章 物質の構成粒子 3章 化学結合	1学期評価期間
	5		
	6		
	7		
二 学 期	8	第2部 物質の変化 1章 物質と化学反応式 指数計算 原子量・分子量・式量 アボガドロ数 モル計算 溶液と濃度 化学反応式 2章 酸と塩基	2学期仮評価期間
	9		
	10		2学期評価期間
	11		
	12		
三 学 期	1	3章 酸化還元反応	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	理科
科 目 名	生物基礎
使用教科書	高校生物基礎 visual (実教出版)
副教材等	改訂 ネオパルノート 生物基礎 (第一学習社)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○		○	

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験や考察を行う上で、その内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述などから学びに向かう態度等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容		備考
一 学 期	4	1章 生物の特徴	1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー	1学期評価期間
	5	2章 遺伝子とその働き	1節 遺伝情報とDNA	
	6	2章 遺伝子とその働き	2節 遺伝情報とタンパク質の合成	
	7	3章 ヒトのからだの調節	1節 体内環境	
二 学 期	8	3章 ヒトのからだの調節	2節 体内環境の維持の仕組み	2学期仮評価期間
	9	3章 ヒトのからだの調節	3節 免疫	
	10	4章 生物の多様性と生態系	1節 生態系とその成り立ち	2学期評価期間
	11	4章 生物の多様性と生態系	2節 植生とバイオーム	
12	4章 生物の多様性と生態系	3節 生態系と生物の多様性		
三 学 期	1	4章 生物の多様性と生態系	4節 生態系のバランスと保全	学年末評価期間
	2			
	3			

教 科	理科
科 目 名	地学基礎
使用教科書	高等学校 改訂 地学基礎 (第一学習社)
副教材等	改訂 ネオパルノート 地学基礎 (第一学習社)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○	○		

### 3.学習の留意点

- ・日常生活の中で使用する製品や身の周りで起こる現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- ・学んだことを正確に記録するとともに、学習を振り返る態度を身につけること。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	単元テスト、並びに実験操作やデータを処理する技能から評価します。	観察・実験や考察を行う上で、その内容などから評価します。	授業に対する姿勢、振り返りシートの記述などから学びに向かう態度等で判断します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備考
一 学 期	4	1章 地球のすがた 1節 地球の概観 2節 プレートの運動	1学期評価期間
	5		
	6	2章 地球の活動 1節 地震 2節 火山活動	
二 学 期	8	3章 大気と海洋 1節 地球のエネルギー収支 2節 大気と海洋の運動	2学期仮評価期間
	9		
	10	4章 宇宙と地球 1節 宇宙と太陽の誕生 2節 太陽系と地球の誕生	2学期評価期間
	11	5章 生物の変遷と地球環境 1節 地層と化石 2節 地球と生物の変遷	
三 学 期	1	6章 地球の環境 1節 地球環境の科学 2節 日本の自然環境	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	保健体育
科 目 名	体育
使用教科書	アクティブスポーツ 新高等保健体育
副教材等	なし
単 位 数	3

		対象生徒		
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家 政 科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1) 集団での活動を通して、ひとりひとりが「集団の一員」である意識を育む。
- 2) 各種目での実践を通して、種目の基礎知識・技能を始め、他者との望ましい関わり方や礼儀・作法、安全への意識を身につける。
- 3) 体育を通じた運動技能の習得や習熟の過程を日々の学習活動へ応用できるよう、課題への基本的な取り組み方を身につける。
- 4) 体育授業を通じ、生涯を通じた適切なスポーツとの関わり方（みる、する、知る、支える）について考える。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 身なりを整え、学習環境を整備し、安全・安心な活動を心掛ける
- 2) 体育ノートを活用し振り返り活動を意識する
- 3) 体調管理に留意し、懸念点がある場合は無理をせず可能な範囲で授業に参加する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・実技テスト ・体育ノートの取り組み	・グループ活動の様子 ・発言等 ・体育ノートの取り組み	・授業態度 (授業規律、準備・片付け) ・グループ活動の様子 ・体育ノートの取り組み	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	・オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体力テスト	・男女別修
	5	・器械運動（マット運動）	
	6	・サッカー/ソフトボール	
	9	・陸上競技（短距離・長距離）	
後 期	10	・（男子）柔道、（女子）ダンス	・男女別修（選択を除く）
	11	・バレーボール/バスケットボール	
	1	・バドミントン/卓球（選択）	
	3	・体育理論	

教 科	保健体育
科 目 名	体育
使用教科書	アクティブスポーツ 新高等保健体育
副教材等	なし
単位数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1) 集団での活動を通して、ひとりひとりが「集団の一員」である意識を育む。
- 2) 各種目での実践を通して、種目の基礎知識・技能を始め、他者との望ましい関わり方や礼儀・作法、安全への意識を身につける。
- 3) 体育を通じた運動技能の習得や習熟の過程を日々の学習活動へ応用できるよう、課題への基本的な取り組み方を身につける。
- 4) 体育授業を通じ、生涯を通じた適切なスポーツとの関わり方（みる、する、知る、支える）について考える。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 身なりを整え、学習環境を整備し、安全・安心な活動を心掛ける
- 2) 体育ノートを活用し振り返り活動を意識する
- 3) 体調管理に留意し、懸念点がある場合は無理をせず可能な範囲で授業に参加する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・実技テスト ・体育ノートの取り組み	・グループ活動の様子 ・発言等 ・体育ノートの取り組み	・授業態度 (授業規律、準備・片付け) ・グループ活動の様子 ・体育ノートの取り組み	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・オリエンテーション ・体づくり ・新体力テスト	・選択と記載がある種目は男女共修にて実施、それ以外は男女別修
	5	・テニス/ソフトボール（選択）	
二 学 期	9	・陸上競技：短距離/投てき（選択）	・選択と記載がある種目は男女共修にて実施、それ以外は男女別修
	10	・陸上競技：長距離	
	11	・柔道/ダンス（選択）	
	12	・バレーボール/バスケットボール（選択）	
三 学 期	2	・バレーボール/バスケットボール（選択） ・体育理論	・選択と記載がある種目は男女共修にて実施

教 科	保健体育
科 目 名	体育
使用教科書	アクティブスポーツ 新高等保健体育
副教材等	なし
単 位 数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				○
家 政 科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1) 集団での活動を通して、ひとりひとりが「集団の一員」である意識を育む。
- 2) 各種目での実践を通して、種目の基礎知識・技能を始め、他者との望ましい関わり方や礼儀・作法、安全への意識を身につける。
- 3) 体育を通じた運動技能の習得や習熟の過程を日々の学習活動へ応用できるよう、課題への基本的な取り組み方を身につける。
- 4) 体育授業を通じ、生涯を通じた適切なスポーツとの関わり方（みる、する、知る、支える）について考える。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1) 身なりを整え、学習環境を整備し、安全・安心な活動を心掛ける
- 2) 体育ノートを活用し振り返り活動を意識する
- 3) 体調管理に留意し、懸念点がある場合は無理をせず可能な範囲で授業に参加する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・実技テスト ・体育ノートの取り組み	・グループ活動の様子 ・発言等 ・体育ノートの取り組み	・授業態度 (授業規律、準備・片付け) ・グループ活動の様子 ・体育ノートの取り組み	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・オリエンテーション ・体づくり	・選択と記載がある種目は男女共修にて実施、それ以外は男女別修
	5	・新体力テスト ・テニス/ソフトボール（選択）	
二 学 期	9	・陸上競技：短距離/投てき（選択）	・選択と記載がある種目は男女共修にて実施、それ以外は男女別修
	10	・陸上競技：長距離	
	11	・バレーボール/バスケットボール（選択）	
三 学 期	1	・バドミントン/卓球（選択）	・選択と記載がある種目は男女共修にて実施

教 科	保健体育
科 目 名	保健
使用教科書	新高等保健体育
副教材等	新高等保健体育ノート
単 位 数	1

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全 員	○		
	選 択			
園芸デザイン科		○		
家 政 科	全 員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 現代社会と健康 1)現代社会の中で生活をおくる上で、健康の捉え方、健康の変化、そして健康問題を理解し、正しい健康の考え方を学ぶ。  
 2 安全な社会生活 1)現代社会の中で生活していく上で、安全を第一に生活していくことが重要である。交通事故を始め、自然災害、犯罪、  
 日常生活（熱中症・感染症など）から予防を学び、より安全な生活を維持していく基本保健知識を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- 1) 保健の基礎を知識として学びながら、自身のこれまでやこれからの健康について考える。  
 2) 主体的・対話的で深い学びを実現し、知識を用いたり他者と意見を交流しながら保健についての課題を解決する能力を養う。  
 3) 種々の健康問題への興味・関心を深め、変わりゆく現代社会への対応力を身に付ける。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・ 単元テスト ・ ノートの取り組み ・ 発言等	・ 発言等 ・ グループ活動の様子 ・ 意見発表等	・ 授業態度 (私語、居眠り、授業準備) ・ グループ活動の様子 ・ 提出物状況	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
前 期	4	【現代社会と健康】 ①日本における健康課題の変遷 ②健康の考え方と成り立ち		
	5	③ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ④健康に関する意思決定・行動選択		
	6	⑤現代における感染症の問題 ⑥感染症の予防		
	7	⑦性感染症・エイズとその予防 ⑧生活習慣病の予防と回復		
	8	⑨身体活動・運動と健康 ⑩食事と健康		
	9	⑪休養・睡眠と健康		
	後 期	10	【現代社会と健康】 ⑫がんの予防と回復 ⑬喫煙と健康	
		11	⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康	
		12	⑯精神疾患の特徴 ⑰精神疾患への対応	
1		【安全な社会生活】 ⑱事故の現状と発生要因 ⑲交通事故防止の取り組み		
2		⑳安全な社会の形成 ㉑応急手当の意義と救急医療体制		
3		㉒心肺蘇生法 ㉓日常的な応急手当		

教 科	保健体育
科 目 名	保健
使用教科書	新高等保健体育
副教材等	新高等保健体育ノート
単 位 数	1

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全 員		○	
	選 択			
園芸デザイン科			○	
家 政 科	全 員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

3生涯を通じる健康	1)生涯を通じて健康を理解し日常生活をおくる上で、健康の捉え方、健康の変化、そして健康問題を理解し、正しい健康の考え方を学ぶ。
4健康を支える環境づくり	1)現代社会の中で生活していく上で、安全を第一に生活していくことが重要である。交通事故を始め、自然災害、犯罪、日常生活（熱中症 ・感染症など）から予防を学びより安全な生活を維持していく基本保健知識を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

1) 保健の基礎を知識として学びながら、自身のこれまでやこれからの健康について考える。
2) 主体的・対話的で深い学びを実現し、知識を用いたり他者と意見を交流しながら保健についての課題を解決する能力を養う。
3) 種々の健康問題への興味・関心を深め、変わりゆく現代社会への対応力を身に付ける。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・ 単元テスト ・ ノートの取り組み ・ 発言等	・ 発言等 ・ グループ活動の様子 ・ 意見発表等	・ 授業態度 (私語、居眠り、授業準備) ・ グループ活動の様子 ・ 提出物状況	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	【生涯を通じる健康】 ①思春期と健康 ②性意識の変化と性行動の選択 ③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康 ⑤家族計画 ⑥加齢と健康 ⑦高齢社会に対応した取り組み	
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
二 学 期	8	【生涯を通じる健康】 ⑧働くことと健康 ⑨労働災害の防止 ⑩働く人の健康づくり 【健康を支える環境づくり】 ①大気汚染と健康 ②水質汚濁・土壌汚染と健康 ③健康被害を防ぐための環境対策 ④環境衛生にかかわる活動 ⑤食品の安全性と健康 ⑥食品の安全性を確保する取り組み	
	9		
	10		
	11		
	12		
	1		
三 学 期	1	【健康を支える環境づくり】 ⑦保健制度とその活用 ⑧医療制度とその活用 ⑨医薬品の制度とその活用 ⑩様々な保健活動や対策 ⑪誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	
	2		
	3		
	4		

教 科	芸術
科 目 名	音楽Ⅰ
使用教科書	高校生の音楽Ⅰ
副教材等	なし
単 位 数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・自発的に参加し、音楽を楽しむ姿勢で臨みましょう。
- ・プリントや楽譜はきちんと管理し、楽譜は丁寧に扱きましょう。
- ・お互いの演奏や活動を尊重し、他者を思いやる豊かな心を育てましょう。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・学習活動の状況 ・プリント、レポートの達成度	・グループ活動の状況 ・提出物	・実技試験 ・発表を聞く姿勢 ・演奏を聴く力	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	歌唱 発声、校歌、日本歌曲	
	5	楽典 楽譜の読み方、音符と休符	
	6	器楽 リコーダー	
	7	鑑賞 クラシック、ジャズ、ポップス	
	8	楽典 音程、和音、コードネーム	
	9	器楽 リコーダーアンサンブル	
後 期	10	器楽 リコーダー二重奏、三重奏	
	11	歌唱 イタリア歌曲	
	12	鑑賞 管弦楽、伝統芸能	
	1	楽典 楽器の種類、音楽用語、リズム	
	2	クラシックギターの調弦、運指、スケール、演奏	
	3	合唱、重唱を中心とした西洋音楽史	

教 科	芸術
科 目 名	音楽表現
使用教科書	なし
副教材等	なし
単位数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

音楽やリズムを心で感じ、音感やリズム感だけでなく、集中力や表現力、想像力を養うために設定されている科目です。
--

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	

### 3.学習の留意点

「情操教育」「音感教育」「生活習慣」を自然に身につけることを目指します。
--------------------------------------

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動の状況</li> <li>課題の達成度</li> <li>提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動の状況</li> <li>レポート提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 音楽の始まりと終わりの感覚、リズム、ダイナミクス、音の高低、リズムフレーズ、拍子、音色	実技テスト レポート提出 実技テスト
	5	ピアノ 運指、スケール	
	6	鑑賞 オペラ	
	7	歌唱 日本歌曲	
二 学 期	8	ソルフェージュ 視唱、聴音	実技テスト  実技テスト
	9	ピアノ ベーシックな練習曲	
	10	ピアノ ベーシックな練習曲	
	11	歌唱 イタリア歌曲	
	12	歌唱 イタリア歌曲	
三 学 期	1	プレゼンテーション カントリーミュージック	発表

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ
使用教科書	All Aboard English Communication I New Edition
副教材等	Brains eラーニング
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- (2) 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- (3) 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・レシテーション ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4～9 月	1 Breakfast around the world 世界の朝食の英文を聞いたり読んだりし、相手の好みを知り、自分の考えや好み、理由を伝え合う。	単元テスト
		2 Australia's Cute Quokkas 好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えや好みそして理由などを伝え合う。	単元テスト
		3 Life with Spade 出かける予定の場所について、英語で伝えることができる。自分ができることについて伝える。	単元テスト
		4 A Miracle Mirror: A Diary of Hope 行ってみた場所ややりたいことについて相手の意見を知り、情報や考え、気持ちを伝え合っている。	単元テスト
後 期	10～ 3 月	5 A Dream Engine 将来の夢について、英語で伝えることができる。先週末に楽しんだことについて伝える。	単元テスト
		6 A Funny Picture from the Edo Period 好きな絵について英語で述べることができる	単元テスト
		7 A Diary of Hope 関心のある人物について英語で説明することができる	単元テスト
		8 A Door to a New Life 人の生活を豊かにするロボットについて考え英語で提案することができる	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ
使用教科書	All Aboard English Communication I New Edition
副教材等	Brains eラーニング
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- (2) 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- (3) 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・レシテーション ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・eラーニング ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Lesson 8 ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 Communication 3 電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。 英文のしくみ 主語+動詞+目的語+補語 文法のまとめ3 受け身/比較表現/完了形	単元テスト 単元テスト 単元テスト
		Lesson 9 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 Lesson 10 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 Reading 2 家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。	単元テスト 単元テスト
		Extra Target 3 仮定法過去：〈If+過去形の文、I would …〉 文法のまとめ4 名詞を後ろから説明する分詞/関係詞/句読法	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- (2) 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- (3) 音読・暗唱など音声活動に前向きに取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト ・eラーニング	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7 月	Fighting Plastic Pollution 社会的な問題について英語で意見を述べる<使役動詞>	単元テスト
		Pigs from across the Sea 人を助ける職業について英語で説明できる<分詞構文>	単元テスト
		A Colorful Island 行ってみたい海外を話せる<関係代名詞>	単元テスト
二 学 期	8～12 月	With the Beatles 人気のある人について英語で話せる<比較級・最上級>	単元テスト
		Wild Men 身近な行事を英語で紹介できる<It～to, It～that>	単元テスト
		Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
三 学 期	1～3 月	Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞> Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- (2) 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- (3) 音読・暗唱など音声活動に前向きに取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト ・eラーニング	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7 月	Fighting Plastic Pollution 社会的な問題について英語で意見を述べる<使役動詞>	単元テスト
		Pigs from across the Sea 人を助ける職業について英語で説明できる<分詞構文>	単元テスト
		A Colorful Island 行ってみたい海外を話せる<関係代名詞>	単元テスト
二 学 期	8～12 月	With the Beatles 人気のある人について英語で話せる<比較級・最上級>	単元テスト
		Wild Men 身近な行事を英語で紹介できる<It～to, It～that>	単元テスト
		Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
三 学 期	1～3 月	Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞> Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			○
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
		Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞>	単元テスト
		Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト
二 学 期	9～12	Over the Wall 世界の人々と交流する方法を英語で述べる<関係副詞>	単元テスト
		Inspiration from Nature 自然のデザインの製品を英語で発表する<知覚動詞>	単元テスト
		The Bitter Truth behind Chocolate 社会的な問題について英語で意見を述べることができる<使役動詞>	単元テスト
三 学 期	1～3	Fighting Angel 人を助ける職業について英語で説明することができる	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ
使用教科書	All Aboard English Communication II New Edition
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			○
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

①必要な情報を聞いたり、話し手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えることができる。③基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合うことができる。④基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。⑤基本的な語句を用いて、情報や考え、気持ちを文章に書いて伝えることができる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 授業中に学ぶ英単語や熟語を何度も反復練習し、しっかりと覚える。
- (2) 授業中は作業に積極的に取り組む。提出物は期限内にきちんと出し、また自己管理する。
- (3) 発声、音読など主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・リスニングテスト ・単元テスト	・プリント提出 ・単元テスト	・学習活動に向かう態度 ・単元テスト	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	Little Hero 好きな物語を英語で紹介できる<間接疑問文>	単元テスト
		Special Makeup in Kabuki 伝統文化を英語で説明できる<to不定詞>	単元テスト
		Seeds for Future Generations 地元で有名な場所やものを英語で説明できる<if>	単元テスト
二 学 期	8～12	Over the Wall 世界の人々と交流する方法を英語で述べる<関係副詞>	単元テスト
		Inspiration from Nature 自然のデザインの製品を英語で発表する<知覚動詞>	単元テスト
		The Bitter Truth behind Chocolate 社会的な問題について英語で意見を述べることができる<使役動詞>	単元テスト
三 学 期	1	Fighting Angel 人を助ける職業について英語で説明することができる	単元テスト

教 科	英語
科 目 名	論理・表現Ⅰ
使用教科書	Vista Logic and Expression I (三省堂)
副教材等	Brains eラーニング AI Speaking テスト Pro
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

話す（やり取り）、発表、書くことを通して、論理の構成や展開の工夫をして、話したり、書いたりして伝える、もしくは伝えあうことなどができるようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- （1） ペアやグループ活動などの形態や、掲示課題を変えたりしながら言語活動を繰り返し、慣れる。
- （2） デモンストレーションやモデルとなる文章を活用しながら、話したり書いたりして伝えることができるようにする。
- （3） 提出物は決められた期限を守って必ず出し、返却された後はなくさないように自己管理する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト ・eラーニング	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	1 課 Bouldering? How Nice! < 共感・発表の始めと終わり > 現在形(be動詞 / 一般動詞) 2 課 Famous People 過去形(be動詞 / 一般動詞) < 許可・誘い・提案 > 3 課 Aquarium Adventure 現在進行形/過去進行形、4 課 My Summer Plan 未来表現(will/be going to) 5 課 U F O S i g h t i n g s < 聴衆を引きつける、メールの挨拶 > 6 課 Home stay 現在完了(経験/継続/完了/現在完了進行形) 7 課 Which is faster? 8 課 Great inventions < 驚く、理由を述べる > 比較(比較級/最上級/as...as~) / 助動詞 (can, may)	パフォーマンステスト
二 学 期	8～12	9 課 Save the Earth < 事実を伝える・同意する > 10 課 Masterpiece 助動詞 (must/have to/should)/受動態 < 順序を述べる・出典・引用を示す > 不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 11 課 My Future Job 12 課 World Heritage < 順序を述べる・出典・引用を示す > 不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 13 課 Pictogram 14 課 Cool Japan < 図表を説明する・例を挙げる > 現在・過去分詞・関係代名詞 15 課 What's SDGs?	パフォーマンステスト
三 学 期	1	まとめ	パフォーマンステスト

教 科	英語
科 目 名	論理・表現Ⅰ
使用教科書	Vista Logic and Expression Ⅰ (三省堂)
副教材等	Brains eラーニング AI Speaking テスト Pro
単 位 数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

話す（やり取り）、発表、書くことを通して、論理の構成や展開の工夫をして、話したり、書いたりして伝える、もしくは伝えあうことなどができるようになる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
		○	○		○	

### 3.学習の留意点

- （1） ペアやグループ活動などの形態や、掲示課題を変えたりしながら言語活動を繰り返し、慣れる。
- （2） デモンストレーションやモデルとなる文章を活用しながら、話したり書いたりして伝えることができるようにする。
- （3） 提出物は決められた期限を守って必ず出し、返却された後はなくさないように自己管理する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト	・パフォーマンステスト ・単元テスト ・eラーニング	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4～7	1課 Bouldering? How Nice! <共感・発表の始めと終わり>現在形(be動詞 / 一般動詞) 2課 Famous People 過去形(be動詞 / 一般動詞) <許可・誘い・提案> 3課Aquarium Adventure 現在進行形/過去進行形、 4課My Summer Plan 未来表現(will/be going to)5課 U F O S i g h t i n g s <聴衆を引きつける、メールの挨拶>6課H o m e s t a y 現在完了(経験/継続/完了/現在完了進行形) 7課 Which is faster? 8課Great inventions <驚く、理由を述べる>比較(比較級/最上級/as...as~) /助動詞 (can,may)	パフォーマンステスト
二 学 期	8～12	9課 Save the Earth<事実を伝える・同意する>10課 Masterpiece 助動詞 (must/have to/should)/受動態 <順序を述べる・出典・引用を示す>不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 11課 My Future Job 12課 World Heritage <順序を述べる・出典・引用を示す>不定詞(名詞・副詞・形容詞的用法) 13課 Pictogram 14課 Cool Japan <図表を説明する・例を挙げる>現在・過去分詞・関係代名詞 15課 What's SDGs?	パフォーマンステスト
三 学 期	1	まとめ	パフォーマンステスト

教科	家庭
科目名	家庭基礎
使用教科書	新家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)
副教材等	家庭基礎学習ノート
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技術・技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、評価・改善、考察したことを科学的な根拠に基づき論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活文化を継承し、主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書・学習ノートを用意する。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。提出物は、期限を守る。
- ・生活の中から課題を見つけ、学習につなげる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身に付けることができる。	・生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、判断できる。また、自分の考えを表現することができる。	・自立した生活に向けて、意欲的に学習に取り組もうとしている。	A:十分満足できる状況	
	・生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。		・生活に関心をもち、その充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとする。	B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学期	月	単元名・学習内容	備考
前期	4	オリエンテーション(自己紹介、シラバス) 第1章 これからの人生について考えてみよう(自分の未来予想図) 第2章 自分らしい生き方と家族	前期評価期間
	5	・自立と共生、ライフキャリアと家族、共に生きる家族、家族に関する法律 ・生活設計	
	6	第3章 子どもとかわる ・子どもの発達・生活、子どもをはぐくむ、 こどものための社会福祉	
	7		
	8	第4章 高齢者とかわる ・高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活、介護保険制度	
	9	第5章 社会とかわる ・社会保障制度、共生社会	
後期	10	第6章 衣生活をつくる ・衣服の機能、衣服素材の種類と特徴、衣服の選択から管理、 資源・環境、衣服の構造・デザイン、工作(三原組織)、基礎縫い(エプロン)、ミサンガ	後期評価期間
	11	第7章 住生活をつくる ・住まいの機能・文化、平面表示記号、日照採光・照明・通風・換気、 バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
	12	第8章 消費行動を考える ・消費行動と意思決定、消費生活の現状と課題、 消費者の権利と責任、ライフスタイルと環境	
	1	第9章 食生活をつくる ・食文化の形成、食生活、5大栄養素、その特徴と調理性、食品の表示、食中毒、 食品添加物	
	2	食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす、調理室の使い方	
	3	調理の基礎(調理実習) まとめ	

教 科	家庭
科 目 名	家庭基礎
使用教科書	新家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)
副教材等	オールガイド食品成分表 (実教出版) 新家庭基礎学習ノート (実教出版)
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、食生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書・ノートを用意する。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。提出物は、期限を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けてい	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭、地域の生活の充実を図ろうと、実践しようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
前 期	4	第1章 自分らしい生きたかと家族 オリエンテーション、家庭クラブについて ①自分の未来予想図を描こう ②自立と共生 ③ライフキャリアを見つめ直す ④共に生きる家族 ⑤家族に関する法律	総合的な探究の時間と連携  ※ ホームプロジェクト学習について知る  総合的な探究の時間と連携  ※ 食物調理検定3級模擬 ※ ホームプロジェクトの計画・実施 (総合的な探究の時間と連携) ※ ホームプロジェクトのまとめ 【前期評価】	
	5	第2章 子どもとかわる ①子どもとは ②子どもの発達 ③子どもの生活 ④子どもをはぐくむ ⑤子どものための社会福祉		
	6	第3章 高齢者とかわる ①高齢社会に生きる ②高齢者を知る ③高齢者の自立を支える ④高齢社会を支えるしくみ		
	7	第4章 社会とかわる ①支えあって生きる ②共生社会を生きる		
	8	第7章 住生活をつくる ①人間と住まい ②住まいと文化 ③住まいを計画する ④健康に配慮した快適な室内環境 ⑤安全な住まい		
	9	第8章 消費行動を考える ①消費行動と意思決定 ②消費生活の現状と課題		
	後 期	10		第9章 経済的に自立する ①暮らしと経済 ②将来のライフプランニング
		11		第6章 衣生活をつくる ①人と衣服のかかわり ②衣服の素材の種類と特徴 ③衣服の選択から管理まで ④持続可能な衣生活をつくる ⑤衣服の構造・デザイン ※ 被服実習
12		第7章 住生活をつくる ①人間と住まい ②住まいの文化 ③住まいを計画する ④健康に配慮した快適な室内環境 ⑤安全な住まい ⑥持続可能な住まいづくり		
1		第5章 食生活をつくる ①日本の食文化の形成 ②私たちの食生活 ③栄養と食品のかかわり ④食品の選び方と安全 ⑤食事の計画と調理 ※ 調理実習		
2				
3				

教 科	家庭
科 目 名	家庭総合
使用教科書	家庭総合（実教出版）
副教材等	家庭総合学習ノート オールガイド食品成分表 （実教出版）
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員		○	
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、食生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①教科書、ノートを用意する。②忘れ物はしない。提出物は期限を守る。  
③話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。  
④生活の中から課題を見つけ、ホームプロジェクトにつなげる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	生活を主体的に営むために必要な内容について理解するとともに、それらに関わる技術を身につけている。	生涯を見通して、生活の中から問題を見出し、課題を設定、解決策を構想する。実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて解決する能力を身につけている。	様々な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
一 学 期	4	第7章 衣生活をつくる ①人と衣服の関わり ②衣服の素材の種類と特徴 ③衣服の選択から管理 ④持続可能な衣生活をつくる ⑤私たちがつなく衣生活の文化 ⑥衣服を作ろう	被服実習 ↓ 1学期評価期間	
	5			
	6			
	7	第4章 高齢者とのかかわるホームプロジェクト ①高齢社会に生きる ②高齢者を知る ホームプロジェクトの計画と実施		
	8			ホームプロジェクトのまとめ&発表
	9			③高齢者の自立を支える ④高齢社会を支えるしくみ
	10			第5章 社会とかかわる ①支えあって生きる ②共生社会を生きる
二 学 期	11	第8章 住生活をつくる ①人間と住まい ②住まいの文化 ③住まいを計画する ④健康に配慮した快適な室内環境 ⑤安全な住まい ⑥持続可能な住まいづくり	2学期評価期間	
	12	第9章 消費行動を考える ①消費行動と意思決定 ②消費生活の現状と課題		
	三 学 期	1	③消費者の権利と責任 ④ライフスタイルと環境	学年末評価期間
		2	第10章 経済的に自立する ①暮らしと経済 ②将来のライフプランニング	
3		【1年間のまとめ】		

教 科	情報
科 目 名	情報 I
使 用 教 科 書	図説情報 I 新訂版 (実教出版)
副 教 材 等	2026事例でわかる 情報モラル&セキュリティ 30テーマ
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

情報技術が社会に果たす役割と影響を理解し、情報及び情報技術を適切に活用して問題を解決する力を養う。具体的には、次の4つの領域を通じて「情報活用能力」を総合的に身に付ける。

- 1 情報社会の問題解決
- 2 コミュニケーションの情報デザイン
- 3 コンピュータとプログラミング
- 4 情報通信ネットワークとデータの活用

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- 1 「操作」ではなく「仕組み」の理解を重視する。
- 2 プログラミングにおける試行錯誤から「できた」喜び実感させる。
- 3 情報モラルを「自分事」化させる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・ノート・プリント</li> <li>・問題集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・ノート・プリント</li> <li>・問題集</li> <li>・実習課題の取組状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・意欲・姿勢</li> <li>・ノート・プリント・問題集の提出</li> <li>・実習課題の提出</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4月	第1章 情報社会と私たち 情報社会	評価期間
	5月	情報社会の法規と権利 情報社会が築く新しい社会	
	6月	第2章 メディアとデザイン メディアとコミュニケーション	
	7月	情報デザイン 情報デザインの実践	
	8月	第3章 システムとデジタル化☑ 情報システムの構成	
9月	情報のデジタル化	評価期間	
後 期	10月	第4章 ネットワークとセキュリティ 情報通信ネットワーク	評価期間
	11月	情報セキュリティ 第5章 問題解決とその方法 問題解決	
	12月	データ活用 モデル化 シミュレーション	
	1月	第6章 アルゴリズムとプログラミング	
	2月	プログラミングの方法、	
	3月	プログラミングの実践	

教 科	情報
科 目 名	情報 I
使用教科書	図説情報 I 新訂版 (実教出版)
副 教 材 等	2026事例でわかる 情報モラル&セキュリティ 30テーマ
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

情報技術が社会に果たす役割と影響を理解し、情報及び情報技術を適切に活用して問題を解決する力を養う。具体的には、次の4つの領域を通じて「情報活用能力」を総合的に身に付ける。

- 1 情報社会の問題解決
- 2 コミュニケーションの情報デザイン
- 3 コンピュータとプログラミング
- 4 情報通信ネットワークとデータの活用

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- 1 「操作」ではなく「仕組み」の理解を重視する。
- 2 プログラミングにおける試行錯誤から「できた」喜び実感させる。
- 3 情報モラルを「自分事」化させる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・ノート・プリント</li> <li>・問題集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・ノート・プリント</li> <li>・問題集</li> <li>・実習課題の取組状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・意欲・姿勢</li> <li>・ノート・プリント・問題集の提出</li> <li>・実習課題の提出</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4月	第1章 情報社会と私たち 情報社会	評価期間
	5月	情報社会の法規と権利 情報社会が築く新しい社会	
	6月	第2章 メディアとデザイン メディアとコミュニケーション	
	7月	情報デザイン 情報デザインの実践	
	8月	第3章 システムとデジタル化☑ 情報システムの構成	
	9月	情報のデジタル化	
後 期	10月	第4章 ネットワークとセキュリティ 情報通信ネットワーク	評価期間
	11月	情報セキュリティ 第5章 問題解決とその方法 問題解決	
	12月	データ活用 モデル化 シミュレーション	
	1月	第6章 アルゴリズムとプログラミング	
	2月	プログラミングの方法	
	3月	プログラミングの実践	

教 科	農業
科 目 名	農業と環境
使用教科書	農業と環境（実教出版）
副教材等	なし
単 位 数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。  
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している	①生育ステージごとの管理ができる	①学習態度（私語、姿勢、忘れ物等）	A:十分満足できる状況	
	②作物栽培方法を理解している	②収穫物の利用ができる	②課題を最後までやり遂げる	B:概ね満足できる状況	
	③作物栽培の技術を習得している	③学習の成果を自らが認識できる	③協力しながら学んでいる	C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	1 農業と環境を学ぶ (1) 農業学習とは何か (2) 農業と環境の学び方	
	5	2 農業クラブとは 3 意見発表会と技術競技会に向けて 4 私たちの暮らしと農業 (1) 農業と食糧供給 (2) 農業と農村の役割	
	6	5 作物の特性と栽培のしくみ 6 栽培の基礎と栽培実習（種まきから収穫・利用） (1) 作物の種類と栽培生育特性 (2) カボチャとエダマメの栽培	
	7	7 作物の栽培管理学習 (1) 各生育ステージの生育特性 (2) 生育ステージにおける栽培管理実習 (3) カボチャとエダマメの栽培	
	8	8 学校農業クラブ活動 (1) 農業クラブ行事について (2) プロジェクト学習の進め方	
	9	9 農業と食糧供給 (1) 農業技術と食料生産 (2) 食料の流通・消費と食品産業	
	10	10 農業と農村の役割 (1) 食料の生産・供給機能 (2) 地域活性化の原動力 (3) 国土・環境保全機能 (4) 農村の価値創生	
	11	11 今年度の農業学習を振り返って 12 次年度の農業学習をに向けて	
	12	13 環境保全と農業 14 私たちのなすべきこと	
後 期	1		
	2		
	3		

教 科	農業
科 目 名	農業と環境
使用教科書	7実教 農業701
副教材等	なし
単位数	4

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

1. トマトや草花を栽培し、その生育特徴を知ると共に、その管理技術を体験する。
2. 播種、移植、追肥、摘葉・摘心・整枝等の作業を通して、その目的について考える。
3. 農具や測定器具等の使い方に慣れると共に、継続した調査（記録）を行えるようにする。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

1. 実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）
2. トマトや花の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容を考え、実践出来るようになって下さい。
3. 農業全般に関心を持ち、農業学習の基礎をしっかりと身につけて下さい。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。 ・調整・調査方法を理解して正しく実施できる。	・実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。 ・グループ内で議論できる。 ・レポート内容（考察等）。	・学習態度。 （私語・姿勢・忘れ物等） ・課題をやり遂げる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学期	月	単元名・学習内容	備考
前期	4	・農場オリエンテーリング、シラバス説明。苗販売会準備（学習）	パフォーマンステスト （播種・移植・整枝等） 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	5	・トマトの栽培・観察【9月末の片付けまで生育・収穫調査の継続】。 トマトについての学習。（種子・発芽・移植～継続！）	
	6	・花壇花の調整（摘葉、ピンチ）。花壇苗の播種、移植（鉢上げ）	
	7	・圃場周りの観察、除草等。（除草ほ一等の扱いに慣れる） 生徒玄関等のプランター制作・装飾。（摘葉、花摘み等の管理）	
	8	・温室、圃場の環境整備。	
9	・ライフオート花壇造成。		
後期	10	・収穫/生産物調整～圃場片付け。	パフォーマンステスト （除草、摘葉等） 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	11	・冬支度。落ち葉集め。	
	12	・トマト栽培のまとめ（表とグラフの作成）	
	1	・栽培と飼育の基礎（成長のしくみ～管理）	
	2	・栄養成長と生殖成長、植物を取り巻く環境	
3	・苗販売会用 花壇花の播種・育苗。		

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどをおして、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして解決策を探し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	想像力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 生徒の自発的な活動を促すようなアプローチを心がける。
- (2) 座学における集中力を促すように留意する。
- (3) 計画的に学習が進めることができるように注意する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○座学研修に対して振り返りレポートによる評価。どれだけ理解できているか。	○学習内容を理解し、資格取得に向けて、適切に取り組んでいるか。レポート内容も自分の考えを反映させることができているか。	○毎時、積極的に座学講習に参加できているか。 ○資格取得に向けて、意欲的に取り組むことができているか	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	○製菓衛生師資格取得に向けての座学	
	5	1 衛生法規(1回)	
	6	2 公衆衛生学(4回)	
	7	3 食品学(3回)	
	7	4 食品衛生学(7回) 5 栄養学(4回)	
二 学 期	8	6 社会学(4回)	
	9	7 製菓理論(12回)	
	9	座学 全40回(1回=3h)	
	10.	3hビデオ視聴による座学 + 1h 振り返り学習(4h構成)	
	12.		
三 学 期	1	1 1年間の座学振り返り及び実習の振り返り	
	2	2 次年度4月～7月までの座学及び実習の準備	
	3	3 資格試験に向けての学習プランの立案	

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副 教 材 等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどをおして、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	想像力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 生徒の自発的な活動を促すようなアプローチを心がける。
- (2) R (リサーチ) P (計画) D (実践) C (評価) A (改善) の定着を図る。
- (3) 計画的に研究が進められ、実験実習が検証できていることを確認する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	○研究テーマや関連項目、事象について十分に理解を深めているか。	○実践内容を振り返り、科学的な分析を踏まえた検証ができているか。また、今後に生かせるようなレポート作成となっているか。	○研究活動に対して、能動的な態度で取り組むことができているか。 ○班員が協力して、学び合い、教え合いを行うことでも高め合っているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	プロジェクト学習の進め方	考査は行わず、上記観点でどれだけ毎時取り組むことができているか評価する。また、大会においてどれだけ成果を残せたかも評価に加味する。
	5	1 研究テーマを探す。(関連教科より調査したいこと話し合いで決める。)	
	6	2 テーマ決定後→テーマ関連項目についての調査する。(Research)	
	7	3 仮説を確かめるための実験実習の計画を立てる。(Plan)	
二 学 期	8	4 計画の通り、実験実習を行う。その際、できるだけ詳細に記録をとる。(Do)	
	9	5 実験・実習の結果から科学的・社会的な根拠を元に考察を行う。(グラフ化→見える化) (Check)	
	10.	6 実験・検証データをもとにスライド化して、成果を振り返るとともに、改善点を見つけ出す。(Action)	
	11.	専攻班は、水稲・作物 野菜・草花 食品加工 製菓衛生師の4部門で行う。 ※製菓衛生師は資格取得に向けての学習が主となる。	
三 学 期	1	※年間通じて、計画的な実験実習や振り返りを行う。 ※発表会にプレゼン発表する。	
	2	1 校内大会(12月中旬) 2 地域大会(6月中旬) 3 全道大会(8月下旬)	
	3	4 全国大会(10月下旬) 入賞すれば順に上位大会へ進出する。	

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	農業と環境（実教出版） 作物（実教出版）
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 農業クラブ活動や課題研究などを通して当別町や社会に興味・関心を持ち自己との関わりから問いを見つける  
(2) また自己と他者への理解を深め協働的に取り組む力を養う

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする  
(2) 自ら課題を設定し自ら実施、自ら考え自ら学ぶ態度を育てる  
(3) 産業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している	①生育ステージごとの管理ができる	①学習態度（私語、姿勢、忘れ物等）	A:十分満足できる状況	
	②作物栽培方法を理解している	②収穫物の利用ができる	②課題を最後までやり遂げる	B:概ね満足できる状況	
	③作物栽培の技術を習得している	③学習の成果が認識できる	③協力しながら学んでいる	C:努力を要する状況	
	④農業の役割を理解している	④プレゼンテーションができる	④学習課題の設定ができる		
	⑤基礎的な農業用語を理解している	⑤環境保全に向けた行動ができる			

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	<単元名> 1-プロジェクト課題の設定	
		2-プロジェクト計画	
	5	3-実践前調査/実践前研究	
		4-プロジェクト計画発表	
	6	5-プロジェクトの実践	
		6-プロジェクトのまとめ	
	7	7-プロジェクト発表	
二 学 期		8-次年度に向けて・石狩管内の諸問題について(調べ学習)	
		<学習内容>	
	8	・当別町が抱える農業問題や課題について(調べ学習)	
		・本校が抱える諸問題や課題について	
	9	・課題解決に向けたプロジェクト内容について	
		・活動のテーマおよび目標と選定理由	
10	・活動計画の立案		
	・プロジェクト実践の事前調査/事前検証/仮説		
11	・テーマ/計画に基づく実践		
	・記録簿の整理/実践データおよび記録のまとめ		
12	・プロジェクトの成果/反省/課題		
	・プレゼンテーションソフトを利用した発表準備		
三 学 期	1	・校内プロジェクト発表会出場	
	2	・次年度への準備	
	3		

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどをおして、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	想像力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- (1) 生徒の自発的な活動を促すようなアプローチを心がける。
- (2) R (リサーチ) P (計画) D (実践) C (評価) A (改善) の定着を図る。
- (3) 計画的に研究が進められ、実験実習が検証できていることを確認する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○研究テーマや関連項目、事象について十分に理解を深めているか。	○実践内容を振り返り、科学的な分析を踏まえた検証ができているか。また、今後に生かせるようなレポート作成となっているか。	○研究活動に対して、能動的な態度で取り組むことができているか。 ○班員が協力して、学び合い、教え合いを行うことでも高め合っているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	プロジェクト学習の進め方	考査は行わず、上記観点でどれだけ毎時取り組むことができているか評価する。また、大会においてどれだけ成果を残せたかも評価に加味する。
	5	1 研究テーマを探す。(関連教科より調査したいこと話し合いで決める。)	
	6	2 テーマ決定後→テーマ関連項目についての調査する。(Research) 3 仮説についての仮説を立てる。 3 仮説を確かめるための実験実習の計画を立てる。(Plan) ※2h続きで実験・実習を行い、1hで振り返り記録整理を行う習慣を身につける。	
	7		
二 学 期	8	4 計画の通り、実験実習を行う。その際、できるだけ詳細に記録をとる。(Do)	
	9	5 実験・実習の結果から科学的・社会的な根拠を元に考察を行う。(グラフ化→見える化) (Check)	
	10	6 実験・検証データをもとにスライド化して、成果を振り返るとともに、改善点を見つけ出す。(Action)	
	11	専攻班は、水稲・作物 野菜・草花 食品加工の3部門で行う。 ※2h続きで実験・実習を行い、1hで振り返り記録整理を行う習慣を身につける。	
	12		
三 学 期	1	※年間通じて、計画的な実験実習や振り返りを行う。 ※発表会にプレゼン発表する。	
	2	1 校内大会(12月中旬) 2 地域大会(6月中旬) 3 全道大会(8月下旬)	
		4 全国大会(10月下旬) 入賞すれば順に上位大会へ進出する。	
	3		

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副 教 材 等	農業と環境 畑の益虫とその増やし方 図解でよくわかる病害虫の基 本
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	○
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 農業の基礎的学習を生かし自主的に取り組む態度を養う。みどり戦略学生チャレンジ（農水省）等に応募、減農薬栽培に取り組む。
- 2 農業や農業関連産業に携わるものとして解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて解決する力を養う。
- 3 活動成果をまとめプレゼン発表を行い、表現力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1 実習において服装を整え、安全・安心な実習を行うようにしてください。
- 2 主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、専門的な知識や技術を高める努力をしてください。
- 3 問題解決のため持続的に実験・実習を行い検証改善を繰り返し、探求的な学習となるように心がけてください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・専門的な知識・技能を深く学ぶことができる。 ・実践力・効率的な実習ができる。	・レポート内容：実践から学びの様子が示されている。 ・実習：適切な判断で班員と協力できる。	・意欲的にプロジェクト学習に取り組める。 ・リーダーシップを発揮し、他者と協力できる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	計画：みどり戦略学生チャレンジ等に応募、減農薬栽培に取り組む。 RPDCAサイクル：リサーチ＝地域に合ったテーマ選定。 プラン＝仮説（到達目標）設定／実習計画。 実践：＝計画に基づき実験実習。	レポート（アグリノート含む） パフォーマンス 理論 実技作品等
	5	圃場準備、ビーツ播種、ぼかし肥作り、キクイモ・ヤコン・サトイモの定植。	
	6	冷凍ビーツの利用。栽培管理・観察：【自然農薬の散布】、調査。	
	7		
二 学 期	8	栽培管理・観察：【自然農薬の散布】、調査の継続。（11月片付けまで） ※観察・記録はこまめにデータ整理しておく（気づきを大切に）。	レポート（アグリノート含む） パフォーマンス 理論 実技作品等
	9	記録の整理・データ分析：栽培管理・生育調査。病害虫調査・防除実験等	
	10	活動まとめ：C（チェック）データをもとに検証し結果・結論を出すため考察する。	
	11	プレゼン発表準備：圃場片付け。活動記録まとめ（原稿・スライドづくり）。	
	12	プレゼン発表：検証結果をプレゼン資料にまとめ、わかりやすく発表。	
三 学 期	1	次年度に向けての改善：A（アクション）今年度の結果を基に改善点を見つけ、次年度につなげる。	レポート パフォーマンス
	2		
	3	基礎学習＋予備学習：活動計画→準備・・・研究テーマの決定	

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	農業と環境（実教出版） 作物（実教出版）
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 農業クラブ活動や課題研究などを通して当別町や社会に興味・関心を持ち自己との関わりから問いを見つける  
(2) また自己と他者への理解を深め協働的に取り組む力を養う

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする  
(2) 自ら課題を設定し自ら実施、自ら考え自ら学ぶ態度を育てる  
(3) 産業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している	①生育ステージごとの管理ができる	①学習態度（私語、姿勢、忘れ物等）	A:十分満足できる状況	
	②作物栽培方法を理解している	②収穫物の利用ができる	②課題を最後までやり遂げる	B:概ね満足できる状況	
	③作物栽培の技術を習得している	③学習の成果が認識できる	③協力しながら学んでいる	C:努力を要する状況	
	④農業の役割を理解している	④プレゼンテーションができる	④学習課題の設定ができる		
	⑤基礎的な農業用語を理解している	⑤環境保全に向けた行動ができる			

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	<単元名> 1-プロジェクト課題の設定	
		2-プロジェクト計画	
	5	3-実践前調査/実践前研究	
		4-プロジェクト計画発表	
	6	5-プロジェクトの実践	
		6-プロジェクトのまとめ	
	7	7-プロジェクト発表	
	8-次年度に向けて・石狩管内の諸問題について(調べ学習)		
二 学 期	8	<学習内容> ・当別町が抱える農業問題や課題について(調べ学習)	
		・本校が抱える諸問題や課題について	
	9	・課題解決に向けたプロジェクト内容について	
		・活動のテーマおよび目標と選定理由	
	10	・活動計画の立案	
		・プロジェクト実践の事前調査/事前検証/仮説	
11	・テーマ/計画に基づく実践		
	・記録簿の整理/実践データおよび記録のまとめ		
12	・プロジェクトの成果/反省/課題		
	・プレゼンテーションソフトを利用した発表準備		
1	・校内プロジェクト発表会出場		
2	・次年度への準備		
三 学 期	3		

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副 教 材 等	農業と環境 畑の益虫とその増やし方 図解でよくわかる病害虫の基 本
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	○
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- 1 農業の基礎的学習を生かし自主的に取り組む態度を養う。みどり戦略学生チャレンジ（農水省）等に応募、減農薬栽培に取り組む。
- 2 農業や農業関連産業に携わるものとして解決策を探索し、科学的な根拠に基づいて解決する力を養う。
- 3 活動成果をまとめプレゼン発表を行い、表現力を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- 1 実習において服装を整え、安全・安心な実習を行うようにしてください。
- 2 主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、専門的な知識や技術を高める努力をしてください。
- 3 問題解決のため持続的に実験・実習を行い検証改善を繰り返し、探求的な学習となるように心がけてください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	・専門的な知識・技能を深く学ぶことができる。 ・実践力・効率的な実習ができる。	・レポート内容：実践から学びの様子が示されている。 ・実習：適切な判断で班員と協力できる。	・意欲的にプロジェクト学習に取り組める。 ・リーダーシップを発揮し、他者と協力できる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	計画：みどり戦略学生チャレンジ等に応募、減農薬栽培に取り組む。 RPDCAサイクル：リサーチ＝地域に合ったテーマ選定。 プラン＝仮説（到達目標）設定／実習計画。 実践：＝計画に基づき実験実習。	レポート（アグリノート含む） パフォーマンス 理論 実技作品等
	5	圃場準備、ビーツ播種、ぼかし肥作り、キクイモ・ヤコン・サトイモの定植。	
	6	冷凍ビーツの利用。栽培管理・観察：【自然農薬の散布】、調査。	
	7		
二 学 期	8	栽培管理・観察：【自然農薬の散布】、調査の継続。（11月片付けまで） ※観察・記録はこまめにデータ整理しておく（気づきを大切に）。	レポート（アグリノート含む） パフォーマンス 理論 実技作品等
	9	記録の整理・データ分析：栽培管理・生育調査。病害虫調査・防除実験等	
	10	活動まとめ：C（チェック）データをもとに検証し結果・結論を出すため考察する。	
	11	プレゼン発表準備：圃場片付け。活動記録まとめ（原稿・スライドづくり）。	
	12	プレゼン発表：検証結果をプレゼン資料にまとめ、わかりやすく発表。	
三 学 期	1	次年度に向けての改善：A（アクション）今年度の結果を基に改善点を見つけ、次年度につなげる。	レポート パフォーマンス
	2		
	3	基礎学習＋予備学習：活動計画→準備・・・研究テーマの決定	

教 科	農業
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	農業と環境（実教出版） 作物（実教出版）
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 農作物の栽培を通して農業に興味・関心を持ち社会や自己との関わりから問いを見つける  
(2) また自己と他者への理解を深め協働的に取り組む力を養う

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする  
(2) 自ら課題を設定し自ら実施、自ら考え自ら学ぶ態度を育てる  
(3) 産業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う  
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤基礎的な農業用語を理解している	①生育ステージごとの管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度（私語、姿勢、忘れ物等） ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況 B:概ね満足できる状況 C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考	
一 学 期	4	<単元名> 1-プロジェクト課題の設定・・・活動テーマ「復活！ 田中農園」 2-プロジェクト計画	エダマメ/ミニトマト/ 各種野菜/水稻栽培	
	5	3-実践前調査/実践前研究 4-プロジェクト計画発表		
	6	5-プロジェクトの実践 6-プロジェクトのまとめ		
	7	7-プロジェクト発表 8-次年度に向けて・石狩管内の諸問題について(調べ学習)		
	二 学 期	8		<学習内容> ・当別町が抱える農業問題や課題について(調べ学習) ・本校が抱える諸問題や課題について
		9		・課題解決に向けたプロジェクト内容について
		10		・活動のテーマおよび目標と選定理由 ・活動計画の立案
		11		・プロジェクト実践の事前調査/事前検証/仮説 ・テーマ/計画に基づく実践
12		・記録簿の整理/実践データおよび記録のまとめ ・プロジェクトの成果/反省/課題 ・プレゼンテーションソフトを利用した発表準備		
三 学 期	1	・農業クラブ校内プロジェクト発表会参加/見学 ・次年度への準備		
	2			
	3			

教 科	農業
科 目 名	総合実習
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科		○		
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○	○	○	

### 3.学習の留意点

- (1) 農業の基礎基本の定着・意欲向上に努める。
- (2) 実習において特に安全教育に十分配慮する。
- (3) 正しい服装・格好を遵守し、農業に真摯に向き合う姿勢を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	実習の成果から評価します。実習の開始前に説明したことを理解し、しっかりと取り組むことが大前提となります。	実習を通じて、自ら考え実践するなど、考えるながら行動する習慣を身につけたいものです。実習状況を通して評価します。	授業へ取り組む姿勢を評価します。積極的に参加する姿勢は高く評価します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4 5 9	< 2 h 続きの実習 > 1 農業実習を安全に行うための基礎基本を理解する。 2 正しい更衣室の利用方法と補助管理・整備の方法 3 各分野の基礎実習 (1) 水稻・作物(作物の分類と特性の違いを理解する) (2) 野菜(野菜類の栽培方法や特性を理解する) (3) 草花(草花の種類や特性の違いを理解する) (4) 食品加工(食品の衛生管理方法を習得する。) < 1 h 座学 > 1 農クの基礎・基本 2 農業鑑定競技による専門学習(作物・草花・食品)	実習に向き合う態度や取り組み状況から、3観点での評価をする。 座学においては、実習と関連付けた専門知識を学習し、興味を引きつけるように工夫する。
		後 期	1 0 3

教 科	農業
科 目 名	農業と情報
使用教科書	7実教 農業702
副教材等	全商情報処理検定テキスト3級 R6全商ビジネス文書実務検定テキスト (実教出版)
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ①文書を正しく早く入力できる。ワード（ワード）ソフトを活用して、チラシ等のデザイン文書を制作出来る。
- ②表計算（エクセル）ソフトを用いて、データの整理、分析を効率よく出来る（農業学習に活用）。
- ③プレゼンテーション（パワーポイント）ソフトを用いて資料を作成し、分かりやすいプレゼンの企画・発表が出来る。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
			○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①指定の席に着席、機器（不備）を確認。話をよく聞きコンピュータを操作する。何かあったら直ちに申し出る。（勝手な操作は故障原因となる）
- ②誤った情報やプライバシーにかかわる情報の扱いに十分に注意する。（著作権の侵害等も）
- ③反復練習を繰り返し、各種ソフトの操作を身につけられるよう努力する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・入力、表作成ができる。 ・関数/表計算の利用方法を理解し、効率的に利用できる。	・学んだ知識や技能を生かして、適切な判断の下に資料や作品を作れる。	・演習活動において、ひたむきに知識・技能を向上させるために取り組むことができる。 (入力速度・課題の達成)	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	プログラムについて：発展的なプログラム1・2	速度/実技【毎時】 ※毎回の課題確認 学科問題 (単元テスト)
	5	(毎時10分間の読み/速度・入力練習を行う。ビジネス文書実務の復習)	
	6	・表計算ソフト使用：エクセルで集計や分析を効率的に進められる事を実感する。	
	7	・数学/三角関数等：SUM、ROUND、ROUNDUP/DOWN、AVERAGE、COUNT、MAX、MIN、RANK等の使用を的確に行える。	
二 学 期	8	・論理、検索：IF、AND、VLOOKUP等の使用を的確に行える。	速度/実技【毎時】 ※毎回の課題確認 学科問題 (単元テスト)
	9	・エクセル用語の確認：エクセルに用いる各種アイコンや関数を覚える。	
		・全商ビジネス文書実務検定に向けての学習	
	10	・実技応用問題：分析に適したグラフを選び、考察等しやすいよう加工出来る。	
	11	・実技応用問題：・問題を理解し、適した関数を用いて表を作成出来る。	
	12	・ワードソフトの活用：例題に取り組み、写真入りのチラシ等を作成出来る。	
三 学 期	1	・プレゼンテーションソフトの活用：パワーポイントの操作や機能を覚え資料が作れる。	
	2	・分かりやすい資料とは：作成手順を理解し実際に作成が出来る。(原稿から)	
	3	・効果的演出（動画等）：実際にスライドを作成出来る。(写真、アニメーション、グラフ等)	

教 科	農業
科 目 名	作物
使用教科書	作物（実教出版）
副教材等	なし
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

(1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤農業の基礎用語を理解している	①生育ステージ毎の管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1－イネについて学ぶ (1)稲作文化 (2)イネの果たす役割 (3)イネの栽培学習	1 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	5	2－イネ栽培の実際 (1) [イネの学習①] ハウス設置・種子の予措・播種・管理・生育調査	
	6	(2) [イネの学習②] 施肥・田植え・交流会・除草・生育調査	
	7	(3) [イネの学習③] 稲刈り・交流会・乾燥・もみすり・精米・出荷調整 (4) [イネの学習④] 販売・米の利用(試食会・活用方法の探究)	
		(5) [イネの学習④] プロジェクト発表会に向けて	
二 学 期	8	3－イネ育苗ハウスの有効利用 (1) [イネ育苗ハウスの有効利用] ミニトマトの栽培	2 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	9	(2)播種、鉢上げ、鉢替え、施肥、耕起 (3)定植、生育調査、一般管理、収穫、販売	
	10	4－プロジェクト学習 (1)学習内容①「お米を利用した調理研究」	
	11	(2)学習内容②「水稻育苗ハウスの有効利用」	
	12	5－米の利用方法	
		6－これからの稲作	
		7－今年度の農業学習を振り返って・プロジェクトのまとめ	
三 学 期	1	8－次年度の農業学習に向けて・次年度のプロジェクトについて	3 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	2	9－当別町の農業と私たちの農業学習	
	3		

教 科	農業
科 目 名	作物
使用教科書	作物（実教出版）
副教材等	なし
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

(1) 社会環境について農業的な思考による実践的・体験的な学習活動を行い職業人として必要な資質・能力を育成する。
(2) 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ力を養う。
(4) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	①植物の特性を理解している ②作物栽培方法を理解している ③作物栽培の技術を習得している ④農業の役割を理解している ⑤農業の基礎用語を理解している	①生育ステージ毎の管理ができる ②収穫物の利用ができる ③学習の成果が認識できる ④プレゼンテーションができる ⑤環境保全に向けた行動ができる	①学習態度 (私語、姿勢、忘れ物等) ②課題を最後までやり遂げる ③協力しながら学んでいる ④学習課題の設定ができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1－作物生産の役割と動向 2－作物の特性と栽培技術 (1) [作物栽培の実際①] スイートコーン・ジャガイモ・ネギ・タマネギの栽培技術 (2) [作物栽培の実際②] 播種・施肥・管理・生育調査 (3) [作物栽培の実際③] 収穫・出荷調整・販売 3－[プロジェクト学習] (1)学習テーマ①「播種期分散による連続収穫」 対象作物～スイートコーン・ネギ・(エダマメ) (2)学習テーマ②「食材活用法」 対象作物～スイートコーン・ジャガイモ・ネギ・タマネギ (3)学習テーマ③「二毛作への挑戦」 対象作物～スイートコーンおよびエダマメの後作品目の選定 4－[利用方法] 食材としての活用 対象作物～スイートコーン・ジャガイモ・ネギ・タマネギ 5－今年度の農業学習を振り返って・プロジェクトのまとめ	1 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	5		
	6		
二 学 期	7		
	8		2 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	9		
三 学 期	10		
	11		
	12		
三 学 期	1	6－次年度の農業学習に向けて(プロジェクトの後輩への引き継ぎ)	3 学期評価期間 科目内考査・実技試験実施 必要に応じて単元テスト実施
	2	7－当別町の農業と本校の作物栽培 8－作物栽培を通して私たちのできること	
	3		

教 科	農業
科 目 名	野菜
使用教科書	7実教 農業311
副教材等	農業と環境（農文教） 農業技術検定〈3級〉テキスト
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

1. 葉菜類・根菜類（ブロッコリー・レタス・セルリー・大根・人参等）を栽培し、各植物の生育特徴やその管理技術を身につける。
2. 畝立て、マルチ張り、支柱立て・誘引/整枝等の作業技術や理論（作業の目的）を身につける。
3. 各野菜の収穫適期や収穫・調整（販売を意識した）方法を身につけ、商品として販売することを目指す。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

1. 実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）
2. 野菜の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容（道具の選択）を考え、実践出来るようになって下さい。
3. 農業全般に関心を持ち、農業学習の基礎をしっかりと身につけて下さい。※農業技術検定学習は、作物・野菜・草花・食品製造・総探で実施。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。 ・調整・調査方法等を理解して正しく実施できる。	・実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。 ・グループ内で議論できる。 ・レポート内容（考察等）。	・学習態度。 （私語・姿勢・忘れ物等） ・課題をやり遂げる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・苗作り：「苗販売会の野菜」播種・（土づくり）移植・栽培管理。	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	5	・栽培計画、播種、移植、圃場準備（レタス、キャベツ、セルリー等）： 区画・畝立て、マルチング、定植。	
	6	・栽培管理（10月片付け迄）：追肥、病虫害防除管理（除草、低温/高温・	
	7	防風・病虫害対策）、収穫調整/販売。・セルリー2種等定植。 ・ニンニク収穫調整/販売。ニンジン・大根・白菜等播種。	
二 学 期	8	・【栽培管理～収穫継続】：各野菜圃場管理（除草、低温/高温・防風・ 病虫害対策）、ハーブ類試食、収穫調整・販売。	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	9	・フェア用野菜栽培：アスパラ等、イチゴ（ランナー）定植準備等。	
	10	・【〃継続】：セルリー等試食【収量調査・品質評価】、収穫調整・販売 （大根・レタス等）。ニンニク定植。	
	11	・【〃継続】：収穫調整（保存）・販売。圃場/ハウス/実習棟片付け。	
	12	・野菜栽培について：栽培まとめ（ポートフォリオ等）	
三 学 期	1	・病虫害について：ウィルス、細菌、カビ、線虫、栽培環境について	確認テスト レポート
	2	・野菜育苗について：栽培技術の実際と応用、苗販売会に向けて（計画）	
	3	・苗販売会に向けて（播種・移植）。	
		・野菜の種類と特徴。生育特性と栽培環境調整技術等。	

教 科	農業
科 目 名	野菜
使用教科書	7実教 農業311
副教材等	農業と環境（農文教） 農業技術検定〈3級〉テキスト
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

1. 学んできた知識と技術を生かして、トマト・ナス、メロン、キュウリ、スイカ等を責任を持って栽培する。
2. 栽培する各種植物の生育特徴を知るとともに、基本的な管理技術と理論（作業の目的、方法等）を身につける。
3. 各野菜の収穫適期や収穫・調整（販売を意識した）方法を身につけ、商品として販売することを目指す。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

1. 実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）
2. 野菜の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容（道具の選択）を考え、実践出来るようになって下さい。
3. 圃場植物（雑草や害虫と呼ばれる生物も）に興味を持ち、その活用方法や農場管理等を総合的に考えられるようになる！

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。 ・調整・調査方法等を理解して正しく実施できる。	・実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。 ・グループ内で議論できる。 ・レポート内容（考察等）。	・学習態度。 （私語・姿勢・忘れ物等） ・課題をやり遂げる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	10	・ 苗作り：「苗販売会の野菜」播種・（土づくり）移植・栽培管理。 ・ 栽培計画、播種、苗作り、圃場準備： <b>接ぎ木</b> ・移植（トマト、ナス、メロン、 <b>キュウリ</b> 、スイカ等）、区画・畝立て、マルチング、定植。 ・ 栽培管理（10月片付け迄）：支柱立て・誘引、整枝。病害虫防除管理（除草、低温/高温・防風・病害虫対策）、収穫調整・販売。	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート（アグリノート入力も）
	8 9 10 11 12	・ 【栽培管理～収穫継続】：トマト、メロン等の試食、収穫調整・販売。 ・ ナス・ウリ類ハウス片付け→ <b>フェア用野菜をハウスで栽培：ホウレンソウ、コマツナ、チンゲンサイ、ミニハクサイ等播種（リレー栽培）</b> ・定植、収穫調整、販売。 ・ <b>圃場/ハウス/実習棟片付け</b> 。 ・ 野菜栽培について：栽培まとめ（ポートフォリオ等） ・ 品種改良と繁殖。	パフォーマンステスト 確認/単元テスト レポート（アグリノート入力も）
三 学 期	1	・ 栽培環境と生育調節について	レポート

教 科	農業
科 目 名	草花
使用教科書	7実教 農業304
副教材等	農業と環境（農文教） 農業技術検定〈3級〉テキスト
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>多くの草花を栽培し、各植物の生育特徴やその管理技術を身につける。</li> <li>播種、移植、追肥、摘葉・摘心・整枝等の作業技術や理論（作業の目的）を身につける。</li> <li>各草花の栽培・調整（販売を意識した）方法を身につけ、商品として販売することを目指す。</li> </ol>
--

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

<ol style="list-style-type: none"> <li>実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）</li> <li>花の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容を考え、実践出来るようになって下さい。</li> <li>農業全般に関心を持ち、農業学習の基礎をしっかりと身につけて下さい。※農業技術検定学習は、作物・野菜・草花・食品製造・総探で実施。</li> </ol>
---

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。</li> <li>調整・調査方法等を理解して正しく実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。</li> <li>グループ内で議論できる。</li> <li>レポート内容（考察等）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習態度。（私語・姿勢・忘れ物等）</li> <li>課題をやり遂げる。</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・苗作り：「苗販売会の草花」播種・（土づくり）移植・栽培管理。	パフォーマンステスト （播種・移植・挿し木等） 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	5	・栽培計画、播種、移植、圃場準備（千日紅・スターチス等ドライフラワー、）：区画・畝立て、マルチング、定植。	
	6	4月、7月 ホルライフト花壇造成。	
	7	・栽培管理（10月片付け迄）：除草、追肥、摘葉・ピンチ、病害虫対策、収穫調整/販売・アレンジ作品づくり。 ・ポインセチア栽培（挿し木・矮化处理・ピンチ・短日処理について）	
二 学 期	8	・【栽培管理～収穫継続】：千日紅・スターチス等ドライフラワー、ラベンダー、ダリア、ハロウィン・モチヤカガキ等、・ポインセチア栽培	パフォーマンステスト （ワイヤリング、ラッピング等） 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	9	・フェア/ライフト用花苗 栽培＝装飾【学校内外】。	
	10	・栽培管理（圃場片付け迄）：除草、追肥、摘葉・ピンチ、病害虫対策、収穫調整/販売・アレンジ作品づくり。	
	11	・ポインセチア栽培管理・販売。	
	12	・日長と花芽形成/温度と花成、生育開花調節と作型等	
三 学 期	1	・草花の多面的利用～園芸デザインについて	確認テスト レポート
	2	・苗販売会に向けて（計画、播種・移植）。	
	3	・草花の種類と特徴。生育特性と栽培環境調整技術等。	

教 科	農業
科 目 名	草花
使用教科書	7実教 農業304
副教材等	農業と環境（農文教） 農業技術検定〈3級〉テキスト
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

1. 様々な草花を栽培し、各植物の生育特徴やその管理技術を身につける。
2. 播種、移植、追肥、摘葉・摘心・整枝等の作業技術や理論（作業の目的）を身につける。
3. 各草花の栽培・調整（販売を意識した）方法を身につけ、商品として販売することを目指す。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

1. 実習においては服装を整え、自ら積極的に活動して下さい。（怪我をしない、させない）
2. 花の生育状況に関心を持ち、必要な管理作業内容を考え、実践出来るようになって下さい。
3. 農業全般に関心を持ち、農業学習の基礎をしっかりと身につけて下さい。※農業技術検定学習は、作物・野菜・草花・食品製造・総探で実施。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・植物の生態や特徴を理解できる。変化がわかる。 ・調整・調査方法等を理解して正しく実施できる。	・実習目的や内容、植物の特徴等を説明できる。 ・グループ内で議論できる。 ・レポート内容（考察等）。	・学習態度。 （私語・姿勢・忘れ物等） ・課題をやり遂げる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	・苗作り：「苗販売会の草花」播種・（土づくり）移植・栽培管理。	パフォーマンステスト （播種・移植・挿し木等） 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	5	・栽培計画、播種、移植、圃場準備（4月、7月ワイフオート花壇花等）	
	6	・花フェスタ札幌デザイン決め（デザイン＝装飾準備）→花フェスタ出展。	
	7	・栽培管理（10月片付け迄）：ラベンダー、ダリア、ハロウィン・モリヤカギチャ等 除草、追肥、摘葉・ピンチ、病虫害対策、収穫調整/販売・アレンジ作品	
二 学 期	8	・【栽培管理～収穫継続】： シクラメン栽培（鉢替え、灌水・施肥、遮光、葉組み、防除作業継続）	パフォーマンステスト （ワイヤリング、ラッピング等） 確認/単元テスト レポート（アグリノート記入も）
	9	・フェア/ワイフオート用花苗 栽培＝装飾【学校内外】	
	10	・栽培管理（圃場片付け迄）：除草、追肥、摘葉・ピンチ、病虫害対策、 収穫調整/販売・アレンジ作品づくり。	
	11	・ポインセチア栽培管理（ホルモン処理）・販売。	
	12	・日長と花芽形成/温度と花成、生育開花調節と作型等	
三 学 期	1	・草花の多面的利用～園芸デザインについて	確認テスト レポート
	2	・苗販売会に向けて（計画、播種・移植）。	
	3	・草花の種類と特徴。生育特性と栽培環境調整技術等。	

教 科	農業
科 目 名	食品製造
使用教科書	7実教 農業326 食品製造
副教材等	なし
単位数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科			○	
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことをとおして、食品製造に必要な資質能力を次のとおり育成する。

- 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	想像力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- プロジェクト学習を基本とします。そのため積極的な授業参加してください。
- 単元ごとにレポート作成を行います。ただ提出するだけでなく、内容が詰まったレポート作成を心がけてください。
- 体験・実験等の記録のまとめをプレゼンします。見やすくわかりやすくを意識して作成してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○基本的な知識・技能を習得できたか。 ○実習で得た知識を生かしているか。	○知識・技能を生かして課題解決できる力が身についたか。 ○グループワークで論述 ○レポートの内容充実度合い	○自ら学ぼうとしているか。 ○あきらめず知識・技術を身につけようとしている。 ○自らの考えや意見を表現できているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 食品加工の意義 ～食品加工の特性を理解する。	適宜確認テスト
	5	2 食品施設の衛生管理の徹底とHACCP的な考え方を理解する。	
	6	3 加工原料の栽培方法を理解する。(トマト栽培方法の理解)	
	7	4 トマトを原料とした加工品製造 (1) トマトピューレの製造 (2) トマトケチャップの製造	
二 学 期	8	(3) トマトジュースの製造	適宜確認テスト
	9	5 小麦粉を利用した加工品製造 (1) パウンドケーキ製造 (2) 菓子類製造(クッキー・ビスケット)	
	10.	(3) スコーン製造 (4) パンの製造	
	11.	6 果実類の加工 (1) 果実ジャムの製造	
	12.		
三 学 期	1	7 農産加工品の原理を科学的な見地から理解する。	適宜確認テスト
	2	8 加工品を商品化し、販売するまでのマーケットを理解する。	
	3		

教 科	農業
科 目 名	食品製造
使用教科書	7実教 農業326 食品製造
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				○
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことをとおして、食品製造に必要な資質能力を次のとおり育成する。

- 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	想像力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- プロジェクト学習を基本とします。そのため積極的な授業参加してください。
- 単元ごとにレポート作成を行います。ただ提出するだけではなく、内容が詰まったレポート作成を心がけてください。
- 体験・実験等の記録のまとめをプレゼンします。見やすくわかりやすくを意識して作成してください。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	○基本的な知識・技能を習得できたか。 ○実習で得た知識を生かしているか。	○知識・技能を生かして課題解決できる力が身についたか。 ○グループワークで論述 ○レポートの内容充実度合い	○自ら学ぼうとしているか。 ○あきらめず知識・技術を身につけようとしている。 ○自らの考えや意見を表現できているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	1 食品施設の衛生管理の徹底とHACCP的な考え方を元に実習を組み立てる。(記録データの整理)	適宜確認テスト
	5	2 トマトを原料とした加工品製造 (1) トマトピューレの製造 → ピザの製造	
	6	(2) トマトケチャップの製造 (3) トマトジュースの製造 → 原価計算 → 販売活動をととしてフードシステムを学ぶ。	
	7		
二 学 期	8	3 小麦粉を利用した加工品製造・販売 (1) パウンドケーキ製造・販売先開拓・販売	適宜確認テスト
	9	(2) 菓子類製造(クッキー・ビスケット) (3) スコーン製造	
	10.	(4) パンの製造・販売	
	11.	4 果実類の加工 (1) 果実ジャムの製造・販売	
三 学 期	1	5 農産加工品の原理を科学的な見地から理解する。	適宜確認テスト
	2	6 加工品を商品化し、販売するまでのマーケットを理解する。	
	3		

教 科	商業
科 目 名	簿記
使用教科書	新簿記 新訂版 (実教出版)
副教材等	反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級(改訂版) 令和8年度版 全商 簿記実務検定模擬試験 問題集 3級
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- 1 簿記の目的や資産・負債・資本・収益・費用の概念を理解する。
- 2 財務諸表の役割と構造について理解を深める。
- 3 適正な取引の記帳と財務諸表の作成ができるようにする。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・小テスト ・単元テスト ・ノート・プリント ・問題集	・小テスト ・単元テスト ・ノート・プリント ・問題集 ・演習課題の取組状況	・授業態度・意欲・姿勢 ・ノート・プリント・問題集の提出 ・演習課題の提出	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4月	第Ⅰ編 簿記の基礎 簿記の基礎、簿記の5要素、貸借対照表、損益計算書、	
	5月	取引と勘定、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳、 試算表、精算表、決算	
	6月	第Ⅱ編 取引の記帳(その1)	
	7月	現金預金の記帳、商品売上の記帳、掛け取引の記帳、 その他の債権・債務の取引(その1)、固定資産の記帳、 販売費及び一般管理費の記帳	
二 学 期	8月	第Ⅲ編 決算(その1)	
	9月	決算整理(その1)、	
	10月	8桁精算表、	
	11月	帳簿決算	
	12月	第Ⅳ編 帳簿・伝票と記帳の効率化 帳簿、仕訳伝票と3伝票制 第Ⅴ編 取引の記帳(その2) 手形の取引、その他の債権・債務の取引(その2)、 有価証券の取引、個人企業の資本の取引	
三 学 期	1月	総合演習	

教 科	商業
科 目 名	情報処理
使用教科書	情報処理 新訂版 (実教出版)
副教材等	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題 集2級 学習と検定 Excelで学ぶ全商情報処理検 定テキスト2級
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通 科	全員		○	
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

<p>ビジネスの諸活動を効率化し、新たな価値を創造するための次の3つの資質・能力をを総合的に身に付ける。</p> <p>1. 体系的な知識と技術の習得</p> <p>2. 実践的な問題解決力の育成</p> <p>3. 社会的責任と学び続ける態度の育成</p>
---

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

<p>1 ビジネスにおける情報の意義や役割を理解し、適切に処理するための基礎を固める。</p> <p>2 単にソフトウェアを使えるだけでなく、ビジネスの課題をITでどう解決するかを重視する。</p> <p>3 情報化が進む社会において、倫理観を持って主体的に取り組む姿勢を養う。</p>
---

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>単元テスト</li> <li>ノート・プリント</li> <li>問題集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>単元テスト</li> <li>ノート・プリント</li> <li>問題集</li> <li>実習課題の取組状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度・意欲・姿勢</li> <li>ノート・プリント・問 題集の提出</li> <li>実習課題の提出</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4月	第4章 ビジネス文書の作成 コンピュータを利用して様々なビジネス文書を作成について学習する。 ・ビジネス文書と表現 ・図形と画像の活用 ・基本文書の作成 ・応用文書の作成	
	5月		
	6月		
	7月		
二 学 期	8月	第1章 企業活動と情報処理 情報社会の一員として適切に行動するために必要なルールやモラル・ マナーを学習する。 第3章 ビジネス情報の処理と分析 表計算ソフトウェアのグラフや分析機能を活用して、ビジネスに 関する情報を有効に処理・分析・判断する能力を学習する。	
	9月		
	10月		
	11月 12月		
三 学 期	1月	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 基本的な知識と技術について学習する。	

教 科	家庭
科 目 名	生活産業基礎
使用教科書	生活産業基礎（実教出版）
副教材等	楽しく学べるマナーの基本
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業やその職業への関心を持ち、必要な知識と技術を習得する。また、活用する意欲と態度を育む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①授業に真剣に取り組む。
- ②課題には必ず取り組み、提出日を守る。
- ③保育技術検定、造形表現技術3級に関する知識・技術を身に付ける。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・生活産業の職業に必要な基礎的な知識を身につけた。 ・衣食住、ヒューマンサービス等に関する生活産業や職業に関する基本的な内容を理解した。	社会における産業の変化について課題を見つけ、考え、表現することができた。	授業の記録を取り、発展させるために意欲的に授業に取り組んだ。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	オリエンテーション	小テスト 課題 調べ学習 前期仮評価期間 前期末評価期間
	5	・学習内容の確認	
	6	第1章「生活産業基礎」を学ぶ	
	7	・生活産業の役割と産業構造の変化・職業人に求められるもの	
	8	第2章ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 ・消費者ニーズの把握 関連法規 商品サービスの企画、開発、販売、提供 *家庭科保育技術検定造形表現技術について ・検定内容と折り紙 課題学習→職業調べをしてみよう（発表） 第3食生活関連分野 第4章衣生活関連分野 第5章住生活関連分野	
後 期	9	第6 ヒューマンサービス関連分野	小テスト 課題 調べ学習 折り紙（保育技術検定3級） 後期仮評価期間 後期末評価期間
	10	（9月、2年保育コースの主導で保育講話の実施）	
	11	*10月に産業現場見学実習実施（ホテルライフォート札幌）	
	12	*12月保育技術検定造形表現技術検定3級の実施	
	1		
	2	第7章なりたい自分になるために	
	3	・職業人に必要な資質とは ・将来の生活と学業	

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	知識ゼロからのピアノと楽譜入門 指づかい付きバイエル
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース		○	
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ①子どもの遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術の習得を目指す。
- ②子ども文化の充実を図る能力と態度を養う。
- ③主に子どもの遊び、音楽表現活動についての基礎となる知識と技術の習得に取り組む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①楽典の知識は繰り返し学習し、知識を活用し、ピアノ演奏、歌唱をする。
- ②ピアノの演奏技術向上に向け、授業以外の練習を積み重ねる。
- ③講義、保育実習や訪問活動などの体験的学習、学年を超えたグループ学習など学習形態が様々であることから、積極的主体的に取り組むことが望まれる。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏技術が向上したか。</li> <li>・正しい音程とリズムで歌唱できるか。</li> <li>・楽典の知識が理解できているか。</li> <li>・楽譜が読めるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽典の知識を応用し、演奏や歌唱ができるか。</li> <li>・曲の特徴をつかみ、表現力豊かに演奏できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノを正しく弾こうとしているか。</li> <li>・実技・筆記問題を期限までにやって提出しているか。</li> </ul>	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 歌唱・ピアノ演奏 五線、音部記号、音名、変化記号、拍子、歌い方 家庭科保育技術検定音楽・リズム表現技術練習 縦線、音符、休符、バイエルNo.10まで	札幌大谷短期大学の連携 (～2月) 1学期評価期間
	5	楽典の知識 ピアノ演奏・歌唱 拍子、拍子記号、強起と弱起、バイエルNo.30まで 歌唱、検定模擬	
	6	楽典の知識 ピアノ演奏・歌唱	
	7	音楽・リズム表現技術検定3級 楽典の知識・ピアノ演奏 1学期のまとめ、バイエルNo.40まで、夏休みの宿題	
二 学 期	8	楽典の知識 ピアノ演奏・歌唱 音程、歌唱、バイエルNo.60まで	保育特別実習 2学期仮評価期間  2学期評価期間
	9	音程、歌唱、バイエルNo.70まで	
	10	関係調、転調と移調、検定模擬	
	11		
12	音楽・リズム表現技術検2級 2学期のまとめ、冬休みの宿題		
三 学 期	1	楽典の知識 ピアノ演奏 バイエルNo.75まで、弾き歌い練習 バイエルNo.80まで、弾き歌い練習 バイエルNo.85まで、弾き歌い練習、春休み課題	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副 教 材 等	バイエルピアノ教本 大人の楽典入門 家庭科保育技術検定過去問題集
単 位 数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全 員			
	選 択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全 員			
	保育コース			○
	食物調理コース			

### 1.学習目標

- ①子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術の習得を目指す。
- ②子ども文化の充実を図る能力と態度を養う。
- ③主に子どもの遊び、音楽表現活動についての知識と技術の習得に取り組む。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①楽典の知識は繰り返し学習し、知識を活用しピアノ演奏、歌唱をする。
- ②ピアノ演奏技術向上に向け、授業以外での練習を積み重ねる。
- ③講義、保育実習や訪問活動などの体験的学習、学年を超えたグループ学習などと学習形態が様々であることから、積極的、主体的に取り組むことが望まれる。
- ④保育技術に関する意識・理解を深める。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	楽典の知識を理解しているか。 譜面が読めるか。 演奏技術が向上したか。 正しい音程とリズムで歌唱できるか。	楽典の知識を応用し、演奏や歌唱ができるか。 曲の特徴をつかみ、表現力豊かに演奏できるか	ピアノを正しく弾こうとしているか。 実技・筆記課題を期限までにできているか、やって提出しているか。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	保育特別授業 1学期評価期間
	5	楽典の知識・ピアノ演奏・弾き歌い 子どもの身体表現活動と発達、音階、バイエルNo.90まで 家庭科保育技術検定 音楽・リズム部門準1級練習	
	6	歌う、踊る、演奏する、和音、和音の種類、弾き歌い練習 バイエルNo.93まで 検定模擬、弾き歌い練習	
	7	バイエルNo.97まで 検定模擬、弾き歌い練習	
二 学 期	8	検定模擬、弾き歌い練習 バイエルNo.99まで	卒業制作発表会準備（12月まで） 2学期仮評価期間 2学期評価期間
	9	検定模擬、弾き歌い練習 バイエルNo.100まで	
	10		
	11	卒業制作発表会準備	
三 学 期	12	卒業制作発表会	学年末評価期間
	1		
	2	2年間のまとめ	
	3		

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	「調理1」(実教出版)
副教材等	オールガイド食品成分表(実教出版) 家庭科問題集 基礎編・食物編
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース		○	

### 1.学習目標

家政科の学習を通して得た食生活に関わる知識・技能を活かし、大量調理や食事提供等に関する実践的・体験的な学習を行うことを通じて、食生活関連産業における応用発展の関心を高め、主体的・協働的に取り組むことができる資質・能力を身につける  
**衛生法規、公衆衛生学、食品学、食品衛生学、栄養学**に関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・設定した課題について、調査研究・作品制作を行う
- ・情報収集、実習などを通して調査研究に取り組みまとめる
- ・食物調理技術検定合格(2級・準1級・献立作成)に向けて、課題に確実に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	それぞれのテーマを元に、研究を行い、それを調理することができる。 集団調理と食品衛生について、企画・運営などの準備や実習を通して理解することができる。	テーマをもとに、試作を重ねて、問題点や改善点を考えていくことができる。 研究の過程や成果をまとめた記録、レポートの作成、発表ができています。	調理実習で学んだ内容を活かして自ら課題を見つけ、積極的に取り組むことができる。 実習において仲間と協働し、互いに助け合いながら作業を	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 調理研究	1 学期評価期間
	5	実施計画の検討 テーマ①「特別実習」「ことぶき大学コラボ」 「高校生カフェ」 情報収集・調査、企画、試作、準備	
	6		
	7		
二 学 期	8		2 学期仮評価期間
	9	実施・反省・まとめ	
	10	食物調理技術検定準1級 テーマ②「高校生カフェ」「日常食(弁当) 献立」 情報収集・調査、試作、準備、企画	
	11		
三 学 期	12	食物調理技術検定準1級模擬・実施・まとめ	2 学期評価期間
	1	テーマ③「合同授業企画運営」	学年末評価期間
	2	高校生カフェ・実施・反省・まとめ	
	3	合同授業・実施・反省・まとめ	
	1年間のまとめ 反省・評価・次年度に向けて		

教 科	家庭
科 目 名	課題研究
使用教科書	なし
副教材等	調理1 2023オールガイド食品成分表
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

食生活に関わる分野において、体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付ける。食生活に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として解決策を探求し、創造的に解決する力を養う。課題解決する力の向上を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・設定した課題について、調査研究・作品制作を行う
- ・情報収集、実習などを通して調査研究に取り組みまとめる
- ・卒業制作発表会などを研究成果の場とする

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	家政科に関する科目等で身に付けた知識・技術などを活用し、多面的・多角的に分析し、理論と関連付ける。科学的な根拠に基づいて解決策を考察できる。。	自らの考えを表現し、議論し、協働的に課題解決に向けて取り組むことができる。研究の成果について効果的に表現し、発表することができる。	主体的かつ周囲の人々と協働して取り組むことができる。学習計画に基づいて学習を進めることができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	<b>【課題研究について】</b> ・年間の学習内容について、理解を深める。 ・学習の意義や内容、評価の方法を理解する。 <b>【大量調理実習① 学食ランチ・間借りカフェランチ①】</b> ・大量調理について学び、今まで学んだ食の知識と技術を応用・発展した献立を研究・作成する。 ・テーマを決定し、テーマに沿った運営を研究し、計画を立てる。 ・献立作成のための材料の選び方を学ぶ ・テーブルコーディネートのデザインの決定・制作	行動確認 レポート  1学期末評価期間
	5		
	6		
	7		
二 学 期	8	<b>【大量調理実習② ミニ学食ランチ・間借りカフェランチ提供・卒業制作】</b> ・大量調理について学び、今まで学んだ食の知識と技術を応用・発展した献立を研究・作成する。 ・テーマを決定し、テーマに沿った運営を研究し、計画を立てる。 ・献立作成のための材料の選び方を学ぶ ・テーブルコーディネートのデザインの決定・制作 ・テーブルセッティング及び、サービスの方法を学ぶ ・当日の配膳計画・運営計画を立てる	行動確認 レポート 2学期中間評価期間  行動確認 レポート 2学期末評価期間
	9		
	10		
	11		
	12		
三 学 期	1	<b>【学習のまとめ】</b>	行動確認 レポート  学年末評価期間

教 科	家庭
科 目 名	保育基礎
使用教科書	保育基礎（実教出版）
副教材等	保育基礎学習ノート
単 位 数	5

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース		○	
	食物調理コース			

### 1.学習目標

子どもと遊び・子どもの表現活動・児童文化などに関する知識と技術の習得を目指し、総合的な能力を保育実習で実践できる。
---

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

①講義、VTR視聴、保育実習や訪問活動などの体験的学習、学年を超えたグループ学習など学習形態が多様であることから、積極的に取り組む。
②保育技術に関する意識・理解を深める。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・造形、言語、音楽、身体などの表現活動技術や習得した知識・技能を生かし活動している。・子どもの発達と児童文化財の重要性を知識として理解している。	・子どもの発達段階を考え、習得した知識や技術を総合的に判断し、表現手段を選択している。	・課題や体験学習などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、工夫し創造しようとしている。・課題の提出期限を守ることなど、保育者として求められる行動を身に付けようとしている。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	小テスト・課題 1学期評価期間 ふれあい体験実習（6月～11月）
	5	・学習の進め方	
	6	2章 子どもの発達	
	7	・子どもの発達の特性、からだの発達、心の発達 3章 子どもの生活 ・生活と養護、生活習慣の形成、健康管理と事故防止 *保育実習に向けて（9月の幼稚園実習に向けて）、ふれあい体験実習 *保育技術検定造形表現2級、言語表現3級の練習を5月より始める。検定は7月実施。	
二 学 期	8	*保育実習に向けての心構えなど	小テスト 保育実習 2学期仮評価期間  2学期末評価期間
	9	*保育実習（9月7～11日）保育講話の準備と実施	
	10	4章子ども文化	
	11	・子ども文化の意義と支える場	
	12	・子どもの遊びと表現活動 *保育技術検定造形表現準1級、言語表現2級の練習を9月下旬より始める。検定は12月実施	
三 学 期	1	1章保育の環境	小テスト 学期末評価期間
	2	・家庭保育と集団保育 *合同授業の準備	
	3	*次年度の保育実習に備えて準備を始める。造形表現技術検定1級、言語表現技術検定準1級の模擬練習。	

教 科	家庭
科 目 名	保育実践
使用教科書	保育実践(文部科学省出版)
副教材等	家庭科保育検定問題集
単 位 数	8

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			○
	食物調理コース			

### 1.学習目標

子どもの表現活動や子育て支援において体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。保育や子育て支援に関する課題を発見し、子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①設定した課題について、調査研究・卒業制作を行う。
- ②情報収集、実習などを通して調査研究に取り組みまとめる。
- ③卒業制作発表会を研究成果や作品制作の発表の場とする。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	保育実習において子ども達に働きかけをすることができる。職業人としての自覚を持ち、責任ある行動ができる。保育の意義を理解できる。	前年度の保育実習の経験から実習の目標を考え実施計画を考えることができる。研究の成果について効果的に表現し、発表することができる。	主体的にかつ周囲の人々と協働して取り組むことができる。学習計画に基づいて学習を進めることができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション 学習の意義、学習の報告、評価の方法を理解する	保育実習（6月3日～10日） 1学期評価期間
	5	家庭科保育技術検定 造形表現 準1級・1級/言語表現 準1級 練習 保育実習 企画・立案・内容検討・計画書の作成・作品制作	
	6	設定保育の指導案 作成	
	7	保育実習(夢の国幼稚園・おとぎの国幼稚園) 実習のまとめ・反省 お礼状作成 家庭科保育技術検定 模擬	
二 学 期	8	卒業制作発表会の実施計画 企画・立案・内容検討・計画書の作成・作品制作	2学期仮評価期間 2学期評価期間
	9	家庭科保育技術検定 言語表現1級 練習	
	10		
	12	卒業制作発表会 実践・振り返り	
三 学 期	1	2年間のまとめ	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	生活と福祉
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース		○	
	食物調理コース			

### 1.学習目標

人の一生と生活・健康について学び、自分の将来を創造しより良い生活を営む力を養う。また、高齢者の現状をしり、生活の中で生かしていく能力を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ①講義、調べ学習などで主体的な学習を実施する。積極的に取り組むことで知識や技術が身に付き理解を深める。  
 ②忘れ物をしない。授業に真剣に取り組む。提出物などの約束を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	・習得した知識・技能を生かし技術が身についたか。	・高齢者の現状と高齢者の特徴を理解し行動にうつす事ができたか。・子どもの発達段階を考え、習得した知識や技術を総合的に判断し、表現手段を選択している。	・課題や体験学習などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、工夫し創造しようとしている。 ・課題の提出期限を守り、深い学びをしようとする。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション	小テスト・課題 1学期評価期間
	5	・学習の進め方	
	6	第1章 健康と生活	
	7	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴 第3章 高齢者の自立支援 *保育技術検定家庭看護3級に向けて（乳幼児の抱き方、検温など）検定は7月実施 定は7月実施。	
二 学 期	8	第4章 高齢者支援の法律と制度	小テスト 2学期仮評価期間  2学期末評価期間
	9	第5章 介護の実習	
	10	*保育技術検定家庭看護2級の練習を9月下旬より始める。検定は12月実施	
	11		
	12		
三 学 期	1	第6章 看護の実習	小テスト  学期末評価期間
	2	*次年度の保育技術検定家庭看護準1級の練習を始める。	
	3		

教 科	家庭
科 目 名	生活と福祉
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			○
	食物調理コース			

### 1.学習目標

高齢者の健康と生活、介護などについて体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。家族や地域の人々の豊かな実現を目指して自ら学び高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。高齢者の健康と生活、介護に関する課題を発見し、職業人として合理的、協働的に解決する力を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・忘れ物をしない。授業に真剣に取り組む。提出物などの約束を守る。
- ・家庭看護技術に関する意識・理解を深める。
- ・実習などの体験学習やグループ学習などに積極的、主体的に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	福祉に対する重要性を知識として理解している。各場面に応じた適切な家庭看護技術がミニついている。	自らの考えを表現し、議論し、協働的に課題解決に向けて取り組むことができる。研究の成果について効果的に表現し、発表することができる。	主体的かつ周囲の人々と協働して取り組むことができる。学習計画に基づいて学習を進めることができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	実施計画の検討 オリエンテーション	1 学期評価期間
	5	高齢化の現状・特徴 高齢化の現状・高齢者の心身の特徴と病気・生活課題・施策	
	6	高齢者の自立生活支援 自立生活支援の基本・高齢者介護	
	7	家庭看護技術検定準1級対策・模擬	
二 学 期	8		2 学期仮評価期間
	9	高齢者支援の法律と制度 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ・介護保険制度	
	10	高齢者支援と地域包括ケアシステム	2 学期評価期間
	11	生活支援 生活支援の考え方 ・衣食住の生活環境	
12	家庭看護技術検定1級対策 ・模試		
三 学 期	1	レクリエーションの意義と目的 ・活動種目 ・実習	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	服飾手芸
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			○
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

手芸の種類と特徴及び関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、手芸品を創造的に制作し、日常生活の中で活用する能力と態度を身につける

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業に真剣に取り組む（協調性や協力性、指示通りの行動、後片付け等）
- ・実習時のまとめを毎回必ず提出する
- ・技術を定着させるため、復習する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	手芸の種類、特徴、変遷などに関する知識や技能の基礎を身につけている	各種の手芸の技法について思考を深め、生活に活かせるように実習活動を計画し、実践することができる	服飾手芸について関心を持ち、実習に主体的に取り組むとともに、その活用について考え、実践することができる	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	「服飾手芸について」 オリエンテーション・手芸の種類と特徴 「ステンシル」 ステンシルの基本 実習1 ステンシルの袋製作	1学期評価期間
	5	「家庭科技術検定被服3級」 実習2 基礎縫いの学習	
	6	実習3 ミシンの基礎・ポケットティッシュケース製作	
	7	「和裁」 和裁の基礎（和服のたたみ方・着方） 実習4 基平製作	
二 学 期	8	「編み物」 実習5 棒編み・かぎ針・指編みの基礎 自由作品製作	2学期仮評価期間
	9		
	10		
	11		
三 学 期	12	2学期評価期間	
	1	「まとめ」 製作物発表会	学年末評価期間
	2		
3			

教 科	家庭
科 目 名	フードデザイン
使用教科書	フードデザイン (教育図書)
副教材等	オールガイド食品成分表 フードデザインワークノート 家庭科問題集 (基礎編・食物編)
単 位 数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース		○	

### 1.学習目標

衛生法規、公衆衛生学、食品学、食品衛生学、栄養学、テーブルコーディネート等に関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身につける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業（動画視聴）は真剣に取り組む。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は、各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。課題のプリントは必ず取り組み、期限を守って提出する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	栄養や調理、食品に関する基本的な内容を理解し、自分の知識として身につける。食事計画・献立を作成できる。テーブルコーディネートについて取り組むことができる。	健康を維持するためには、どのような食生活を送ったらよいかの判断をすることができる。	授業の記録をきちんととり、意欲的に授業に取り組んでいるか。食をめぐる問題点を把握し、より良い食生活に改善しようと努力することができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	第1章 健康と食生活 オリエンテーション 家庭科問題集基礎編	1学期評価期間
	5	1 食事の意義と役割 2 食を取り巻く現状	
	6	第2章 栄養素と食品 1 栄養素と消化・吸収 食物調理技術検定模擬	
	7	2 各栄養素の働き 家庭科問題集食物編	
二 学 期	8	献立作成 日常食の献立	2学期仮評価期間
	9		
	10	第2章 栄養素と食品 3 食品とその特徴 食品実験	2学期評価期間
	11	食物調理技術検定模擬	
12	4 何をどれだけ食べる		
三 学 期	1	第3章 食品の選択と取り扱い 1 食品選択のコツ 2 食の衛生と安全 3 食の安全を考えて学ぼう	学年末評価期間 コックタイ製作
	2	合同授業のテーブルコーディネート	
	3	まとめ 合同授業	

教 科	家庭
科 目 名	食文化
使用教科書	なし
副教材等	オールガイド食品成分表（実教出版） 家庭科問題集 食物編
単 位 数	2

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全 員			
	選 択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全 員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

- ・食文化とは何なのか、人類の歴史の中でどのように展開してきたか、現代の食文化はどのような事態を迎えているかについて理解する。
- ・食文化の継承者として、世界の料理と食文化がどのような物か学ぶ。
- ・伝統的調理技術や調理様式などを受け継ぎ、新たな調理方法を創造することにより、食文化継承の役割を担う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・授業に真剣に取り組む
- ・課題プリントには必ず取り組み、期限を守って提出する
- ・実習後のまとめは丁寧に記入する

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	学習内容を正しく理解し、自分の知識として身につけ応用することができたか 食品や調理用具を適切に取り扱い調理し、調理技術を習得し応用することができたか	条件にあった課題作成ができたか 実習内容、ポイントについてまとめることができたか	食文化に対する興味関心を持ち、積極的に授業や実習に取り組んでいるか 身支度、衛生管理等、実習の準備ができていますか	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	オリエンテーション・食と文化	1学期評価期間
	5	食文化の成り立ち、多様な食文化 食文化の共通点と国際化 行事食と郷土料理 日本行事食と郷土料理の特徴と調理方法を学ぶ 調理実習	
	6		
	7		
二 学 期	8	世界の料理と食文化 世界の料理の変遷・特徴・様式・食事作法、調理方法を学ぶ	2学期仮評価期間
	9		
	10		
	11		2学期評価期間
	12		
三 学 期	1	まとめ 学習のまとめ	学年末評価期間
	2		
	3		

教 科	家庭
科 目 名	調理
使用教科書	「調理1」
副教材等	オールガイド食品成分表（実教出版） 家庭科問題集 基礎編・食物編
単 位 数	5

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース		○	

### 1.学習目標

- ・調理の基礎、献立作成及び様式別調理、製菓理論などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ・食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ・調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・教科書・ノートを用意する。
- ・話をよく聞き、プリント類やノート・ファイル整理は各自でしっかりと行う。
- ・忘れ物はしない。提出物は、期限を守る。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	食品や調理用具を適切に取り扱い調理し、食物調理技術検定2・3級に相当する調理技術を習得し応用することができる。 調理の特徴、種類、特性などを理解し、自分の知識として身につけ応用することができる。	条件にあった献立作成ができています。 実習内容、ポイントについてまとめることができます。	調理に対する興味関心を持ち、積極的に授業や実習に取り組んでいる。 仲間と協働し、互いに助け合いながら作業を進めることができる。 身支度等実習の準備ができています。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	調理の基本 オリエンテーション、調理の基本	1学期評価期間
	5	日常食の調理 調理法の特徴・食品の調理上の性質・実習 検定実技練習	
	6	特別実習・ことぶき大学コラボ試作・改善 高校生カフェ 試作・改善	
	7	食物調理技術検定2級模擬	
二 学 期	8	日本・西洋・中国料理の 特徴と調理	2学期評価期間
	9	特別実習・ことぶき大学コラボ・高校生カフェ	
	10	合同授業・高校生カフェ試作・改善	
	12	食物調理技術検定準1級模擬	
三 学 期	1		学年末評価期間
	2	高校生カフェ	
	3	合同授業 運営	

教 科	家庭
科 目 名	調理
使用教科書	調理1 (実教出版)
副教材等	2023オールガイド食品成分表 令和6年度 家庭科問題集 食物編
単 位 数	5

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

- ・調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- ・課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決するの力を養う。
- ・調理の面から食生活の充実の向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協動的に取り組む態度

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・常に安全で衛生面に配慮して実習を行う。
- ・協調性や協働性をもって、積極的に授業に取り組む。
- ・食物に関する意識・理解を深め、課題に確実に取り組む。(食物調理技術検定1級の取得を目指す)

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	調理の基礎について理解し、 関連する技術を身に付けている	条件にあった献立作成ができたか。実習内容についてまとめることができる。課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。	調理に対する興味関心を持ち、積極的かつ協働性をもって授業や実習に取り組んでいる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	【「調理」の学習について】 ・学習の意義や内容・方法、評価を理解する。	
	5	【大量調理、食品衛生、調理の効率化(学食ランチ、間借りカフェランチ①)】 ・行事等での大量調理を考え献立を作成する。	行動観察 献立表分析 レポート・筆記試験 1学期末評価期間
	6	・大量調理に際して、食品衛生への理解を深め、安全で能率的な調理方法を学び、実践できるようにする。	
	7	・効率的な機器の利用について考える。	
	【供応食・行事食の献立作成と調理、食物調理技術検定1級受験のための練習】 ・課題に応じた供応食・行事食等の献立作成、及び調理ができるようにする。 ・自らたてた献立を準備し時間内に完成させる。		
二 学 期	8	【大量調理、食品衛生、調理の効率化(ミニ学食ランチ、間借りカフェランチ②)】 ・行事等での大量調理を考え献立を作成する。	行動観察 献立表分析 レポート・筆記試験 2学期中間評価  行動観察 献立表分析 レポート・筆記試験 2学期期末評価
	9	・大量調理に際して、食品衛生への理解を深め、安全で能率的な調理方法を学び、実践できるようにする。	
	10	・効率的な機器の利用について考える。	
	11	【卒業制作の献立実習】 ・今まで学んだことを応用し、供応食にふさわしい献立を作成し、テーマに合った食卓の整え方や周囲の環境づくりができるように企画立案、発表(実習)する。	
12			
三 学 期		【学習のまとめ】 2年間のまとめ	行動観察 レポート・筆記試験 学年末評価期間

教 科	家庭
科 目 名	総合調理
使用教科書	全国調理師養成施設協会 総合調理実習
副教材等	なし
単 位 数	3

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全員			
	選択			
園芸デザイン科				
家 政 科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			○

### 1.学習目標

大量調理や食事提供等に関する知識や技術を活用し、食生活関連産業における応用発展の関心を高め、主体的・協働的に取り組むことができる資質・能力を身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・常に安全で衛生面に配慮して実習を行う。
- ・協調性や協働力をもって、積極的に授業に取り組む。
- ・大量調理に関する意識・理解を深め、課題に確実に取り組む。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を 総括して 5段階で 評価する。
評価方法	大量調理や食事提供に必要な知識や技術について身に付けている。献立の立て方、発注、計算ができる。	望ましい調理と食事提供について、課題意識を持ちながら協議し、取り組むことができる。運営の際、全体の動きを理解・判断し、取り組むことができる。	大量調理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
一 学 期	4	【集団調理実習について】 ・食材の扱い方や適した調理法を理解する。	行動観察 献立表分析 レポート 1学期末評価期間
	5	【集団調理実習・大量調理献立（学食ランチ・間借りカフェランチ①）】 ・食材の扱い方や適した調理法を理解する。	
	6	・大量調理の特徴と調理技術について、食材の扱い方や適した調理法を理解し、調理する。	
	7	・衛生的に食材を扱う。 ・大量調理の管理と運営などに関する知識を学び、実践する。	
二 学 期	8	【集団調理実習・大量調理献立 （ミニ学食ランチ・間借りカフェランチ②・卒業制作発表会）】	行動観察 献立表分析 レポート 2学期中間評価  行動観察 献立表分析 レポート 2学期期末評価
	9	・食材の扱い方や適した調理法を理解する。	
	10	・大量調理の特徴と調理技術について、食材の扱い方や適した調理法を理解し、調理する。	
	11	・衛生的に食材を扱う。 ・大量調理の管理と運営などに関する知識を学び、実践する。	
	12	・料理を提供する上で、食事環境とサービスが重要であることを理解し実践できる。	
三 学 期	1	【学習のまとめ】	行動観察 レポート 学年末評価期間

教 科	総合
科 目 名	ベーシックスタディ
使用教科書	なし
副教材等	なし
単 位 数	1

		対象生徒		
		一学年	二学年	三学年
普 通 科	全 員	○		
	選 択			
園芸デザイン科		○		
家 政 科	全 員	○		
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

義務教育段階の国、数、英の学び直しを行うとともに、高等学校での教科・科目の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。さらに、それらを活用して課題を解決するために必要な能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○		○		○	

### 3.学習の留意点

- 1 日本語の基礎を学び、語彙を豊かにする。
- 2 基本的な計算を理解する。
- 3 英語の語順と動詞の変化を理解する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	高校生に必要な基礎学力を身に付け、的確に表現できるかについて、課題の解答結果等で評価します。	身に付けた基礎学力を場面等に応じて適切に選択し、表現しているかについて、解答結果等で評価します。	課題に真剣に臨み自ら学び積極的に解答しようとする姿勢を、活動観察及び学習成果（解答結果）で評価します。	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	Classi利用ガイダンス	前期評価期間
	5	国語・数学・英語の義務教育段階の学び直し	
	9	月曜日から金曜日までの毎日10分間を学習時間とする。 国、数、英の配信課題を解答する。 解答結果や取り組む姿勢などを評価する。	
後 期	10	国語・数学・英語の義務教育段階の学び直し	学年末評価期間
	1	月曜日から金曜日までの毎日10分間を学習時間とする。	
	3	国、数、英の配信課題を解答する。 解答結果や取り組む姿勢などを評価する。	

教 科	産業社会と人間
科 目 名	産業社会と人間
使用教科書	なし
副教材等	実践 産業社会と人間
単位数	2

対象生徒				
学科		一学年	二学年	三学年
普通科	全員	○		
	選択			
園芸デザイン科				
家政科	全員			
	保育コース			
	食物調理コース			

### 1.学習目標

現代の産業構造と問題について基礎的・基本的な知識を学ぶ。また、学んだ知識を活用し、自ら課題を設定し、他者と建設的な対話を行う為のスキルを身に付ける。地域企業での学びを経て、振り返りを作成し、その中で自己の在り方生き方を見つめ、他者との共有を行っていく中で、コンピテンシーを身に付ける。

### 2.身に付けさせたい資質・能力

当高力6つの能力	課題解決力	創造力	探究力	協調性	積極性	尊敬心
	○	○	○	○	○	○

### 3.学習の留意点

- ・学習に必要な基本的な用語の意味を覚える。
- ・他者との協働や対話におけるルールを遵守する。
- ・振り返りや発表を通して、自己を観測し、振り返りとして言語化する。

### 4.評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度	観点別評価規準	三観点を総括して5段階で評価する。
評価方法	言葉の小テスト	スライドを用いたプレゼン 振り返り	他者との協働において、自分を成長させようとする姿勢がみられるか	A:十分満足できる状況	
				B:概ね満足できる状況	
				C:努力を要する状況	

### 5.学習内容

学 期	月	単元名・学習内容	備 考
前 期	4	オリエンテーション	基礎力診断テスト クラスプレゼン 振り返り 評価期間 振り返り クラスプレゼン 評価期間
		対話のルール 人生の豊かさとは？	
	5	チームビルディング ピアレビュー	
		リフレクシントレーニング①	
	6	リフレクシントレーニング②	
		第1章 私たちと社会 私たちが生活する社会の課題	
	7	クラスプレゼン作成 演習	
	8	ピアレビュー ジョブインタビュー事前指導	
	9	ジョブインタビュー 振り返りと振り返りの振り返り 広がる世界と多様性 環境問題を考える	
後 期	10	地域イベントへの参加 振り返りと振り返りの振り返り	評価期間
	11	情報化とこれからの社会 社会の課題と進路	クラスプレゼン
	12	言葉のトレーニング 引用について	評価期間
	1	ピアレビュー クラスプレゼン	クラスプレゼン
	2	働くために勉強する 産業社会を知る	
	3	総合的な探究の時間と産業社会と人間	

学科	普通科
----	-----

・学科ごとに(裏面)を作成した場合は、左の欄に学科名を入力すること。

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

地域探究活動を通して、他者や社会とかわかることで人間として尊重しあい、他者と協働しながら探究し、課題の解決能力を育成するとともに、自らの将来と関連させながら目標を設定し、自ら進んで学習できるようにする。

II 本校において「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
テーマに応じた課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探求の意義や価値を理解できるようになるとともに、身に付けた力を自己実現や地域社会の発展に向けて活用することができるようになる。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析してまとめ、課題解決に向けて相手や目的、意図に応じて表現することができるようになる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己の役割を見つけ、また互いの良さを生かしながら、積極的に参画・貢献することで新たな価値を創造しようとする力を身に付ける。

III 「総合的な探究の時間」の年間指導計画の概要(「総」は総合的な探究の時間の時数、「代」は代替する科目の時数)

目標を実現するにふさわしい探究課題	1 学年 (2単位)		2 学年 (1単位)		3 学年 (1単位)		4 学年 (単位)		
	ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		
月	内容	時数		内容	時数		内容	時数	
		総	代		総	代		総	代
4	オリエンテーション プレゼン、レポートの書き方 渉外マナーについて 体験先下調べ	1 2 2 2		オリエンテーション キャリア学習 リフレクション	1 2 1		進路探究活動	3	
5	体験学習 振り返り キャリア教育	2 2 2		課題の再設定 ブレインストーミング キャリア学習	1 2 1		進路探究活動	12	
6	キャリア教育	7		キャリア教育 リフレクション 実践活動	3 1 2		進路探究活動	5	
7	キャリア教育	4		実践活動 夏休みの計画	1 1		進路探究活動	4	
8	キャリア教育	2		実践活動	1				
9	キャリア教育 ブレインストーミング KJ法 面談 リフレクション	3 1 1 2 1		実践活動 実践活動	2 1		探究活動	3	
10	キャリア教育 ブレインストーミング グルーピング 振り返り面談 レポート作成	3 1 2 1 1		実践活動	3		探究活動	3	
11	リフレクション オリエンテーション 実践活動	1 1 8		実践活動	4				
12	実践活動 振り返り面談 レポート作成	4 1 1		振り返り面談・レポート作成 リフレクション	1 1				
1	リフレクション 発表スライド作成	1 3		発表スライド作成	1				
2	発表スライド作成 発表会(12年合同)	2 2		発表スライド作成 発表会(12年合同)	2 2				
3	リフレクション 発表会振り返り面談 次年度の計画 総探表彰式(12年合同)	1 1 1 1		総探表彰式(12年合同)	1				
合計		70			35			30	

IV 「総合的な探究の時間」の代替の場合

代替する教科・科目	教科名	科目名	実施単位数	単位
代替する単位	1	一部(「総合的な探究の時間」( )単位のうち、上記科目で( )単位を代替)		
	2	全部(「総合的な探究の時間」( )単位の全部を代替)		

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、学年ごとの探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号に○を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
  - イ 地域や学校の特色に応じた課題
  - ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
  - エ 職業や自己の進路に関する課題
  - オ その他
- 3 各学校で作成している「総合的な探究の時間」(任意様式)の各学年の計画表を添付すること。
- 4 学科により目標や内容等が異なる場合は、学科ごとに(裏面)を作成すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

学科	園芸デザイン	科
----	--------	---

・学科ごとに(裏面)を作成した場合は、左の欄に学科名を入力すること。

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

各種行事や競技会への挑戦を通して、科学性(筋道を立てて考え行動したり、身につけた知識と技術を応用して的確に問題を解決したりできる能力)・社会性(協力して物事を行う力を養ったり、地域社会に参加し、広く公共に奉仕する精神を養ったりする)・指導性(他人の意見を正しく理解し、自分の意見を積極的に述べ、集団の考え方や行動を正しく導く力)を高める。

II 本校において「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に与えられた仕事をやり遂げられる</li> <li>・他人に仕事を教えらるる</li> <li>・PC等を使って、学習内容を分かりやすくまとめる</li> <li>・身に付けた力を自己実現や地域社会の発展に向けて活用することができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で議論ができる</li> <li>・今、自分が取り組んでいることを他人に説明できる</li> <li>・レポートの内容(考察等)</li> <li>・自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して目的に向かって行動を始められる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等に積極的に取り組む(私語・姿勢・レポート量等)</li> <li>・仲間と協力して取り組む(準備・片付け)</li> <li>・課題を最後までやり遂げる</li> <li>・仲間の良いところを見つけられる</li> </ul>

III 「総合的な探究の時間」の年間指導計画の概要(「総」は総合的な探究の時間の時数、「代」は代替する科目の時数)

目標を実現するにふさわしい探究課題	1 学年 (1単位)		2 学年 (1単位)		3 学年 (1単位)		4 学年 (単位)		
	ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		
月	内容	時数		内容	時数		内容	時数	
		総	代		総	代		総	代
4	農ク入会式・対面式	2		農ク入会式・対面式	2		農ク入会式・対面式	2	
5	農ク年度始め総会	1		米袋デザイン講習会	2		進路①②	2	
5	自己理解	2		農ク年度始め総会	1		農ク年度始め総会	1	
6	苗販売会	1		ライフオート花壇造成	2		校外進路学習振り返り	1	
6	生き方を考える	1		自己理解	2		農ク意見発表大会	4	
6	鑑定学習	2		苗販売会	2		進路③	1	
6	鑑定学習	5		鑑定学習	2		苗販売会	2	
6	探究をとおして	1					進路④⑤⑥	3	
7	農ク技術競技大会	2		農ク技術競技大会	2		南連意見発表大会当番校運営	6	
7	ライフオート花壇造成	2		ライフオート花壇造成	2		進路⑦	1	
7	長所を考える	1		三者面談に向けて	1		農ク技術競技大会	2	
8	検定について調査	1		インターシップに向けて	1		当別町企業説明会	2	
8	ライフオート花壇造成	2		インターシップ	2		進路⑧	1	
9	情報検定学習	1		ライフオート花壇造成Ⅲ	2				
10				インターシップ	3				
10	情報検定学習	3		インターシップ 事後指導	1				
11	収穫感謝祭	2		見学旅行説明	1				
11	農ク役員選挙	1		農業技術検定学習	2				
11	情報検定学習	1		収穫感謝祭	2				
12	農ク校内実績発表大会	2		農ク役員選挙	1		農ク校内実績発表大会	2	
12	合同合格体験講話	1		農業技術検定学習	2		合同合格体験講話	1	
1	専攻班活動の説明	1		農ク校内実績発表大会	2				
1				合同合格体験講話	1				
1				ネギバクレスト	2				
合計		35			38			31	

IV 「総合的な探究の時間」の代替の場合

代替する教科・科目	教科名	科目名	実施単位数	単位
代替する単位	1	一部(「総合的な探究の時間」( )単位のうち、上記科目で( )単位を代替)		
	2	全部(「総合的な探究の時間」( )単位の全部を代替)		

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、学年ごとの探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号に○を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
  - イ 地域や学校の特色に応じた課題
  - ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
  - エ 職業や自己の進路に関する課題
  - オ その他
- 3 各学校で作成している「総合的な探究の時間」(任意様式)の各学年の計画表を添付すること。
- 4 学科により目標や内容等が異なる場合は、学科ごとに(裏面)を作成すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

学科	家政科
----	-----

・学科ごとに(裏面)を作成した場合は、左の欄に学科名を入力すること。

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

探究活動や家庭クラブ活動を通して、他者や社会とかがかわることで人間として尊重しあい、他者と協働しながら探究し、課題の解決能力を育成するとともに、自らの生活や将来と関連させながら目標を設定し、自ら進んで学習できるようにする。

II 本校において「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
テーマに応じた課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解できるようになるとともに、身に付けた力を自己実現や家庭生活・地域社会の発展に向けて活用することができるようになる。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析してまとめ、課題解決に向けて相手や目的、意図に応じて表現することができるようになる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自己の役割を見つけ、また互いの良さを生かしなが、積極的に参画・貢献することで新たな価値を創造しようとする力を身につけようとしている。

III 「総合的な探究の時間」の年間指導計画の概要(「総」は総合的な探究の時間の時数、「代」は代替する科目の時数)

目標を実現するにふさわしい探究課題	1 学年 (1単位)		2 学年 (1単位)		3 学年 (1単位)		4 学年 (単位)		
	ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		ア イ ウ エ オ		
月	内容	時数		内容	時数		内容	時数	
		総	代		総	代		総	代
4	オリエンテーション	1		オリエンテーション	1		進路探究学習	3	
	家庭クラブ総会・入会式	1		家庭クラブ総会・入会式	1		家庭クラブ総会・入会式	1	
5	問題解決学習	3		問題解決学習	3		進路探究学習	5	
	キャリア教育学習	2		キャリア教育学習	2		保育実習・特別実習	5	
6	キャリア教育学習	3		キャリア教育学習	3		進路探究学習	3	
	高齢者福祉施設訪問	3		高齢者福祉施設訪問	2				
7	キャリア教育学習	1					進路探究学習	6	
	家庭クラブ活動	1		家庭クラブ活動	2				
8	課題解決学習	1		課題解決学習	1				
9	課題解決学習	1		課題解決学習	1				
				保育実習・特別実習	5				
10	キャリア教育学習	2		問題解決学習	3				
	産業現場実習	2							
	家庭クラブ役員選挙	1		家庭クラブ役員選挙	1		家庭クラブ役員選挙	1	
11	高齢者福祉施設訪問	3		高齢者福祉施設訪問	2		高齢者福祉施設訪問	3	
	校内研究発表大会	2		校内研究発表大会	2		校内研究発表大会	2	
	進路探究活動	1		進路探究活動	1		進路探究活動	1	
12	卒業制作発表会見学	1		卒業制作発表会見学	1				
	卒業式・入学式・学科紹介準備	1		卒業式・入学式・学科紹介準備	1		活動の振り返り	1	
1	卒業式・入学式・学科紹介準備	2		卒業式・入学式・学科紹介準備	2				
2	卒業式・入学式・学科紹介準備	3		卒業式・入学式・学科紹介準備	4				
3	活動の振り返り	1		活動の振り返り	1				
合計		36			39			31	

IV 「総合的な探究の時間」の代替の場合

代替する教科・科目	教科名	科目名	実施単位数	単位
代替する単位	1	一部(「総合的な探究の時間」( )単位のうち、上記科目で( )単位を代替)		
	2	全部(「総合的な探究の時間」( )単位の全部を代替)		

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、学年ごとの探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号に○を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
  - イ 地域や学校の特色に応じた課題
  - ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
  - エ 職業や自己の進路に関する課題
  - オ その他
- 3 各学校で作成している「総合的な探究の時間」(任意様式)の各学年の計画表を添付すること。
- 4 学科により目標や内容等が異なる場合は、学科ごとに(裏面)を作成すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

